

勉誠出版

中国社会科学学会 会員様対象 特別割引のご案内

全品**20%OFF**

割引クーポンコード: 8faf67d05a

(使用期限: ~2022年7月31日)

謹啓

向暑の候、日頃より弊社をお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。

このたび、会員様対象の特別割引セールを行うことになりました。

当リストの新刊書籍をはじめ、勉誠出版タイトル全品が対象となります。

この機会にぜひともご購入をご検討くださいますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

謹白

●ご注文について

- ・弊社ウェブサイトよりご注文を承ります。

<https://bensei.jp>

各種クレジットカード、paypal(クレジットカード・デビットカード)でのご決済が可能です。

ぜひご利用くださいませ。

割引クーポンコード: 8faf67d05a (使用期限: ~2022年7月31日)

こちらの10ケタの英数字を、必ずご入力ください！

未入力の場合、割引が適用されず、定価でのご請求となります。ご了承ください。

- ・メール添付、FAX、電話でもお受けしております。
ご氏名・ご住所・電話番号・公費／私費の区別・公費の場合は必要書類・宛名・日付の有無をお知らせください。

- ・**3000円以上のお買い上げで、国内全国送料サービス**

(※ 3000 円未満の場合は送料一律 300 円。なお日本国外への配送に関しては、実費を頂戴します)

***ウェブサイト以外の方法によるご注文の際は、
中国社会科学学会の会員であることをお知らせください。**

●ご連絡先

Mail info@bensei.jp

電話 03-5215-9021

FAX 03-5215-9025

より詳細な「研究書 新刊・近刊のご案内」が
右のQRコードからダウンロードいただけます。



勉強出版
 新刊・近刊書籍リスト（2021・2022年刊行）

No.	書名	著者名	刊行年月	ISBN	定価(税込)	割引価格(税込)	分野	注文数
1	史学科の比較史―歴史学の制度化と近代日本	小澤実・佐藤雄基 編	2022/05	978-4-585-32017-3	¥7,700	¥6,160	日本史(近現代)・歴史・研究書	
2	日本中世の課税制度―段銭の成立と展開 〈アジア遊学〉	志賀節子・三枝暁子 編	2022/05	978-4-585-32516-1	¥3,080	¥2,464	日本史(前近代)・歴史・研究書	
3	歌う民衆と放歌高吟の近代―放歌民衆から唱歌・軍歌を歌う国民へ	永嶺重敏 著	2022/05	978-4-585-37003-1	¥3,850	¥3,080	美術・音楽・芸能・研究書	
4	近代中国美術の境界―越境する作品、交錯する藝術家 〈アジア遊学〉	瀧本弘之・戦曉梅 編	2022/05	978-4-585-32515-4	¥3,850	¥3,080	美術・音楽・芸能・研究書	
5	中世東国日蓮宗寺院の地域的展開	佐藤博信 著	2022/05	978-4-585-32016-6	¥13,200	¥10,560	日本史(前近代)・歴史・研究書	
6	北条義時の生涯―鎌倉幕府の草創から確立へ	菊池紳一 監修／北条氏研究会 編	2022/04	978-4-585-32014-2	¥3,080	¥2,464	日本史(前近代)・歴史・研究書	
7	杜甫研究年報 第五号 〈杜甫研究年報〉	日本杜甫学会 編	2022/04	978-4-585-39445-7	¥2,200	¥1,760	東洋文学・文学・研究書	
8	入門 中国学の方法	二松學舎大学文学部中国文学科 編	2022/04	978-4-585-30005-2	¥1,760	¥1,408	東洋文学・文学・研究書	
9	中世神道入門―カミとホトケの織りなす世界	伊藤聡・門屋温 監修／新井大祐・鈴木英之・大東敬明・平沢卓也 編	2022/04	978-4-585-31006-8	¥4,180	¥3,344	哲学・宗教・民俗・研究書	
10	ことば・ほとけ・図像の交響―法会・儀礼とアーカイヴ	近本謙介 編	2022/03	978-4-585-31009-9	¥13,200	¥10,560	哲学・宗教・民俗・研究書	
11	宗教遺産テキスト学の創成	木俣元一・近本謙介 編	2022/03	978-4-585-31008-2	¥16,500	¥13,200	哲学・宗教・民俗・研究書	
12	宋版一切経(福州版)調査提要―本源寺蔵の調査を通して	福州版一切経調査研究会 編	2022/03	978-4-585-31010-5	¥7,150	¥5,720	東洋史・歴史・研究書	
13	論究日本近代語 第2集	日本近代語研究会 編	2022/03	978-4-585-38522-6	¥16,500	¥13,200	日本語・言語・研究書	
14	一刀斎先生剣法書訳注 Ittousai Sensei Kenpousho: An Annotated Text in Modern Japanese―剣豪伊藤一刀斎の教え	竹田隆一・長尾直茂 編	2022/03	978-4-585-37002-4	¥1,980	¥1,584	日本史(前近代)・歴史・研究書	
15	アジアの出産とテクノロジー―リプロダクションの最前線 〈アジア遊学〉	白井千晶 編著	2022/03	978-4-585-32514-7	¥3,080	¥2,464	哲学・宗教・民俗・研究書	
16	奈良絵本『太平記』の世界―永青文庫所蔵『絵入太平記』全挿絵影印ならびに研究	中根千絵・森田貴之 編	2022/03	978-4-585-39007-7	¥55,000	¥44,000	美術・音楽・芸能・研究書	
17	中国の娯楽とジェンダー―女が変える／女が変わる 〈アジア遊学〉	中国ジェンダー研究会 編	2022/03	978-4-585-32513-0	¥3,080	¥2,464	社会科学・研究書	
18	訳注 琉球文学『佐銘川大ぬし由來記』『周蘭両姓記事』『思出草』『浮縄雅文集』『雨夜物語』『永峰和文』	島村幸一・小此木敏明・屋良健一郎 著	2022/03	978-4-585-39009-1	¥12,100	¥9,680	日本古典文学・文学・研究書	
19	地域文化の可能性	木部暢子 編	2022/03	978-4-585-32015-9	¥2,970	¥2,376	日本語・言語・研究書	
20	日米交流史の中の福田なをみ <i>Naomi Fukuda and the History of Japan-U.S. Exchange</i>―「外国研究」とライブラリアン <i>"Foreign Area Studies" and the Librarian</i>	小出いずみ 著 Izumi Koide	2022/02	978-4-585-30004-5	¥7,700	¥6,160	図書館学・研究書	
21	中国道教美術史 漢魏晋南北朝篇	李松 著／土屋昌明・齋藤龍一 監訳／廣瀬直記・熊坂聡美・因幡聡美 訳	2022/02	978-4-585-37001-7	¥38,500	¥30,800	美術・音楽・芸能・研究書	
22	本朝文粹抄 七	後藤昭雄 著	2022/02	978-4-585-39511-9	¥3,520	¥2,816	日本古典文学・文学・研究書	
23	書物学 第19巻 紙のレンズから見た古典籍 〈書物学〉	編集部 編	2022/02	978-4-585-30719-8	¥1,980	¥1,584	日本古典文学・文学・研究書	
24	大日本帝国期の建築物が語る近代史―過去・現在・未来 〈アジア遊学〉	上水流久彦 編	2022/02	978-4-585-32512-3	¥3,080	¥2,464	自然科学・研究書	
25	知っておきたい和食の文化	佐藤洋一郎 編	2022/01	978-4-585-33001-1	¥3,080	¥2,464	人文・一般書	
26	宗教芸能としての能楽 〈アジア遊学〉	高橋悠介 編	2022/01	978-4-585-32511-6	¥3,300	¥2,640	哲学・宗教・民俗・研究書	
27	コレクションとアーカイヴ―東アジア美術研究の可能性	板倉聖哲・塚本鷹充 編	2022/01	978-4-585-37000-0	¥10,450	¥8,360	美術・音楽・芸能・研究書	
28	飛鳥井家歌学の形成と展開	日高愛子 著	2022/01	978-4-585-39006-0	¥12,100	¥9,680	日本古典文学・文学・研究書	
29	古文書研究 第92号	日本古文書学会 編	2022/01	978-4-585-32402-7	¥4,180	¥3,344	日本史(前近代)・歴史・研究書	
30	聖徳太子信仰とは何か	榊原史子 著	2021/12	978-4-585-31007-5	¥4,180	¥3,344	哲学・宗教・民俗・研究書	
31	中国史書入門 現代語訳 北齊書	氣賀澤保規 監修／池田恭哉・岡部毅史・梶山智史・倉本尚徳・田熊敬之 訳	2021/12	978-4-585-29612-6	¥6,600	¥5,280	東洋文学・文学・研究書	
32	両面の鬼神(オンデマンド版)―飛騨の宿禰伝承の謎	尾関章 著	2021/12	978-4-585-85414-2	¥2,640	¥2,112	人文・一般書	
33	都市からひもとく西アジア―歴史・社会・文化 〈アジア遊学〉	守川知子 編	2021/12	978-4-585-32510-9	¥3,080	¥2,464	世界史・歴史・研究書	
34	玄奘三蔵―新たな玄奘像をもとめて	佐久間秀範・近本謙介・本井牧子 編	2021/12	978-4-585-31005-1	¥13,200	¥10,560	哲学・宗教・民俗・研究書	

勉強出版
 新刊・近刊書籍リスト（2021・2022年刊行）

No.	書名	著者名	刊行年月	ISBN	定価(税込)	割引価格(税込)	分野	注文数
35	市民とつくる図書館―参加と協働の視点から（ライブラリーぶっくす）	青柳英治 編著	2021/12	978-4-585-30003-8	¥2,200	¥1,760	図書館学・研究書	
36	合戦図 描かれた(武)	中根千絵・薄田大輔 編	2021/12	978-4-585-32013-5	¥17,600	¥14,080	日本史(前近代)・歴史・研究書	
37	書物に魅せられた奇人たち―英国愛書家列伝	高官利行 著	2021/12	978-4-585-39005-3	¥4,180	¥3,344	欧米文学・文学・研究書	
38	室町前期の文化・社会・宗教―『三国伝記』を読みとく（アジア遊学）	小助川元太・橋本正俊 編	2021/11	978-4-585-32509-3	¥3,080	¥2,464	哲学・宗教・民俗・研究書	
39	列伝体 妖怪学前史	伊藤慎吾・水厘亭氷泉 編	2021/11	978-4-585-32010-4	¥3,080	¥2,464	人文・一般書	
40	慶應義塾図書館蔵 論語疏卷六 慶應義塾大学附属研究所斯道文庫蔵 論語義疏 影印・解題研究	慶應義塾大学論語疏研究会 編	2021/11	978-4-585-31004-4	¥19,800	¥15,840	東洋文学・文学・研究書	
41	水門 第三十号―言葉と歴史（水門）	水門の会 編	2021/11	978-4-585-32461-4	¥3,300	¥2,640	日本古典文学・文学・研究書	
42	資料論がひらく軍記・合戦図の世界―理文融合型資料論と史学・文学の交差（アジア遊学）	井上泰至 編	2021/10	978-4-585-32508-6	¥3,520	¥2,816	日本史(前近代)・歴史・研究書	
43	従軍日記と報道挿絵が伝える庶民たちの日露戦争	西川武臣 著	2021/10	978-4-585-32008-1	¥4,180	¥3,344	日本史(近現代)・歴史・研究書	
44	近代日本語教科書語彙索引	伊藤孝行 編	2021/10	978-4-585-38002-3	¥8,800	¥7,040	日本語・言語・研究書	
45	英国初期印刷本研究への誘い―書誌学から文学・社会・歴史研究へ	向井剛 著	2021/10	978-4-585-32012-8	¥6,600	¥5,280	世界史・歴史・研究書	
46	古典は遺産か？ 日本文学におけるテキスト遺産の利用と再創造（アジア遊学）	Edoardo GERLINI・河野貴美子 編	2021/10	978-4-585-32507-9	¥3,080	¥2,464	日本古典文学・文学・研究書	
47	室町文化の座標軸―遣明船時代の列島と文事	芳澤元 編	2021/10	978-4-585-32011-1	¥10,780	¥8,624	日本史(前近代)・歴史・研究書	
48	日本中世社会と村住人	蔵持重裕 編	2021/10	978-4-585-32009-8	¥10,450	¥8,360	日本史(前近代)・歴史・研究書	
49	核抑止の理論と歴史―核の傘の信頼性を焦点に	矢野義昭 著	2021/10	978-4-585-33000-4	¥14,300	¥11,440	社会科学・研究書	
50	怪異学講義―王権・信仰・いとなみ	東アジア怪異学会 編	2021/09	978-4-585-32007-4	¥3,520	¥2,816	哲学・宗教・民俗・研究書	
51	説話の東アジア―『今昔物語集』を中心に	高陽 著	2021/09	978-4-585-39004-6	¥13,200	¥10,560	日本古典文学・文学・研究書	
52	戦国時代劇メディアの見方・つくり方―戦国イメージと時代考証	大石学・時代考証学会 編	2021/09	978-4-585-32006-7	¥3,520	¥2,816	人文・一般書	
53	アヘンからよむアジア史（アジア遊学）	内田知行・権寧俊 編	2021/09	978-4-585-32506-2	¥3,080	¥2,464	東洋史・歴史・研究書	
54	首里城を解く―文化財継承のための礎を築く	高良倉吉 監修／島村幸一 編	2021/09	978-4-585-32001-2	¥4,180	¥3,344	日本史(前近代)・歴史・研究書	
55	日本古代の仏教者と山林修行	小林崇仁 著	2021/08	978-4-585-31003-7	¥13,200	¥10,560	哲学・宗教・民俗・研究書	
56	書物のなかの近世国家―東アジア「一統志」の時代（アジア遊学）	小二田章・高井康典行・吉野正史 編	2021/08	978-4-585-32505-5	¥3,300	¥2,640	東洋史・歴史・研究書	
57	古建築調査ハンドブック	山岸常人・岸奏子・登谷伸宏 著	2021/08	978-4-585-35000-2	¥1,540	¥1,232	人文・一般書	
58	中世武家領主の世界―現地と文献・モノから探る	田中大喜 編	2021/08	978-4-585-32003-6	¥4,180	¥3,344	日本史(前近代)・歴史・研究書	
59	近世の村と百姓	渡辺尚志 著	2021/08	978-4-585-32002-9	¥10,780	¥8,624	日本史(前近代)・歴史・研究書	
60	史料が語る東インド航路―移動がうみだす接触領域（アジア遊学）	水井万里子・大澤広晃・杉浦未樹・吉田信・伏見岳志 編	2021/07	978-4-585-32504-8	¥3,080	¥2,464	世界史・歴史・研究書	
61	杉田玄白と江戸の蘭学塾―「天眞樓」塾とその門流	片桐一男 著	2021/07	978-4-585-32004-3	¥7,700	¥6,160	日本史(前近代)・歴史・研究書	
62	谷崎潤一郎 美と生命の間	柴田勝二 著	2021/07	978-4-585-39003-9	¥3,960	¥3,168	日本近現代文学・文学・研究書	
63	交錯する宗教と民族―交流と衝突の比較史（アジア遊学）	鹿毛敏夫 編	2021/07	978-4-585-32503-1	¥3,080	¥2,464	日本史(前近代)・歴史・研究書	
64	古文書研究 第91号	日本古文書学会 編	2021/07	978-4-585-32401-0	¥4,180	¥3,344	日本史(前近代)・歴史・研究書	
65	もう一度読みたい日本の古典文学	三宅晶子 編	2021/07	978-4-585-39001-5	¥2,640	¥2,112	文芸・一般書	
66	元朝の歴史―モンゴル帝国期の東ユーラシア（アジア遊学）	櫻井智美・飯山知保・森田憲司・渡辺健哉 編	2021/06	978-4-585-32502-4	¥3,520	¥2,816	東洋史・歴史・研究書	
67	書物・印刷・本屋―日中韓をめぐる本の文化史	藤本幸夫 編	2021/06	978-4-585-30002-1	¥17,600	¥14,080	日本史(前近代)・歴史・研究書	
68	創られた由緒―近世大和国諸社と在地神道家	向村九音 著	2021/06	978-4-585-31002-0	¥8,800	¥7,040	哲学・宗教・民俗・研究書	
69	中世寺院の仏法と社会	永村眞 編	2021/06	978-4-585-31001-3	¥13,200	¥10,560	哲学・宗教・民俗・研究書	
70	パブリック・ヒストリー入門（オンデマンド版）―開かれた歴史学への挑戦	菅豊・北條勝貴 編	2021/05	978-4-585-82254-7	¥5,280	¥4,224	日本史(近現代)・歴史・研究書	
71	三島由紀夫と日本国憲法	藤野博 著	2021/05	978-4-585-39002-2	¥3,300	¥2,640	文芸・一般書	
72	ベトナム語空間ダイクシスとその展開―指示詞から文末詞・感動詞へ	安達真弓 著	2021/05	978-4-585-38001-6	¥11,000	¥8,800	外国語・言語・研究書	
73	ビジュアル資料でたどる 文豪たちの東京（オンデマンド版）	日本近代文学館 編	2021/05	978-4-585-89163-5	¥3,080	¥2,464	日本近現代文学・文学・研究書	

勉強出版
 新刊・近刊書籍リスト（2021・2022年刊行）

No.	書名	著者名	刊行年月	ISBN	定価(税込)	割引価格(税込)	分野	注文数
74	鉄幹晶子全集 別巻8―拾遺篇 書誌・年譜〈鉄幹晶子全集〉	逸見久美ほか 編	2021/05	978-4-585-01093-7	¥9,900	¥7,920	日本近現代文学・文学・研究書	
75	新しい産業創造へ 〈デジタルアーカイブ・ベシックス〉	時実象一 監修／久永一郎 責任編集	2021/05	978-4-585-20285-1	¥2,750	¥2,200	図書館学・研究書	
76	大宅壮一文庫解体新書―雑誌図書館の全貌とその研究活用	阪本博志 編	2021/05	978-4-585-30001-4	¥3,850	¥3,080	社会科学・研究書	
77	改訂新版 中国学入門(オンデマンド版)―中国古典を学ぶための13章	二松學舎大学文学部中国文学科 編	2021/04	978-4-585-80056-9	¥1,760	¥1,408	入門書・一般書	
78	杜甫研究年報 第四号〈杜甫研究年報〉	日本杜甫学会 編	2021/04	978-4-585-39444-0	¥2,200	¥1,760	東洋文学・文学・研究書	
79	変化する社会とともに歩む学校図書館 〈ライブラリーぶっくす〉	野口武悟 著	2021/04	978-4-585-20081-9	¥2,420	¥1,936	図書館学・研究書	
80	物語文学の諸相と展開	中野幸一 著	2021/03	978-4-585-39000-8	¥13,200	¥10,560	日本古典文学・文学・研究書	
81	日本語文字論の挑戦―表記・文字・文献を考えるための17章	加藤重広・岡墻裕剛 編	2021/03	978-4-585-38000-9	¥7,700	¥6,160	日本語・言語・研究書	
82	勤番武士の江戸滞在記―国枝外右馬江戸詰中日記	岩淵令治 編	2021/03	978-4-585-32000-5	¥11,000	¥8,800	日本史(前近代)・歴史・研究書	
83	東アジアにおける知の往還 〈アジア遊学〉	大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国文学研究資料館・高麗大学校グローバル日本研究院 共編	2021/03	978-4-585-32501-7	¥3,080	¥2,464	日本古典文学・文学・研究書	
84	パリ・ノートル＝ダム大聖堂の伝統と再生―歴史・信仰・空間から考える	坂野正則 編	2021/03	978-4-585-31000-6	¥8,800	¥7,040	哲学・宗教・民俗・研究書	
85	ささえあう図書館(オンデマンド版)―「社会装置」としての新たなモデルと役割 〈ライブラリーぶっくす〉	青柳英治 編著／岡本真 監修	2021/03	978-4-585-90039-9	¥1,980	¥1,584	図書館学・研究書	
86	土地の記憶から読み解く早稲田―江戸・東京のなかの小宇宙	ローザ・カーロリ 著／大内紀彦、フィリッポ・ドルネッティ 訳	2021/03	978-4-585-22299-6	¥2,970	¥2,376	人文・一般書	
87	日本の図書館建築―建築からプロジェクトへ	五十嵐太郎・李明喜 編	2021/03	978-4-585-20074-1	¥3,850	¥3,080	図書館学・研究書	
88	江戸川乱歩大事典	落合教幸・阪本博志・藤井淑禎・渡辺憲司 編	2021/03	978-4-585-20080-2	¥13,200	¥10,560	辞・事典・研究書	
89	増補改訂新版 日本中世史入門―論文を書こう	秋山哲雄・田中大喜・野口華世 編	2021/02	978-4-585-22280-4	¥4,180	¥3,344	日本史(前近代)・歴史・研究書	
90	真田幸弘点取百韻 翻刻と解題	玉城司・小幡伍 編著	2021/02	978-4-585-29204-3	¥9,900	¥7,920	日本古典文学・文学・研究書	
91	観相の文化史	相田満 著	2021/02	978-4-585-29203-6	¥9,900	¥7,920	日本古典文学・文学・研究書	
92	中世の博多とアジア	伊藤幸司 著	2021/02	978-4-585-22300-9	¥10,450	¥8,360	日本史(前近代)・歴史・研究書	
93	コーパスと近代日本語書き言葉の一人称代名詞の研究	近藤明日子 著	2021/02	978-4-585-28052-1	¥9,350	¥7,480	日本語・言語・研究書	
94	戦国合戦図屏風の歴史学	高橋修 著	2021/02	978-4-585-22301-6	¥9,900	¥7,920	日本史(前近代)・歴史・研究書	
95	鷹狩の日本史	福田千鶴・武井弘一 編	2021/02	978-4-585-22297-2	¥4,180	¥3,344	日本史(前近代)・歴史・研究書	
96	韓国・朝鮮説話学の形成と展開	金廣植 著	2021/02	978-4-585-29201-2	¥12,100	¥9,680	東洋文学・文学・研究書	
97	大嘗祭―隠された古層	工藤隆・岡部隆志・遠藤耕太郎 編	2021/01	978-4-585-21057-3	¥4,180	¥3,344	哲学・宗教・民俗・研究書	
98	古文書への招待	日本古文書学会 編	2021/01	978-4-585-22277-4	¥3,300	¥2,640	人文・一般書	
99	メソアメリカ文明ゼミナール	伊藤伸幸 監修／嘉幡茂・村上達也 編	2021/01	978-4-585-22296-5	¥5,500	¥4,400	世界史・歴史・研究書	
100	和漢朗詠集とその享受 増訂版	三木雅博 著	2021/01	978-4-585-29202-9	¥16,500	¥13,200	日本古典文学・文学・研究書	
101	絶滅危惧種を喰らう	秋道智彌・岩崎望 編	2021/01	978-4-585-24014-3	¥3,520	¥2,816	自然科学・研究書	
102	明治の一発屋芸人たち―珍芸四天王と民衆世界	永嶺重敏 著	2021/01	978-4-585-27058-4	¥3,850	¥3,080	美術・音楽・芸能・研究書	

勉強出版 注文書	ご送付先（氏名・住所・電話番号）
Email info@bensei.jp	
FAX 03-5215-9025	通信欄 ※お支払い方法（公費・私費）、必要書類はこちらにご記入ください
※メール、FAX、郵送にてご注文を承ります。 ※メールやFAXの送り状の本文に直接ご注文内容をご記載いただくかたちでも結構です。	

書 名	本体価格	冊数	備考欄

備考欄

入門 中国学の方法

【もくじ】

文字学 ● 戸内俊介

街角の漢字の源流を辿って——「風月堂」の「風」はなぜ「風」か

中国文学 ● 牧角悦子

神話と詩——文学研究の方法論

中国女性史 ● 仙石知子

何のために女性を描くのか——劉向「列女伝」

中国思想 ● 田中正樹

中国の古典思想文献を読む——『論語』を読んでみよう

古典小説 ● 伊藤晋太郎

『三国志演義』を研究する

校勘学 ● 小方伴子

清代に於ける書物の伝承と校勘——校本及びその題跋を手掛かりとして

日本漢学 ● 町泉寿郎

日本漢学とその研究方法をめぐって

中国文献学 ● 王宝平

中国学研究の新動向——中国における「域外漢籍」研究について

書道 ● 高澤浩一

中国書道史の旅

書道 ● 福島一浩

墨跡・禅僧の書——宋時代・鎌倉時代から届いた心の痕

漢文訓読法入門 ● 市來津由彦

返り点を付ける

お役立ちサイト集

「文化の宝庫」を 学ぶために

中国の言語・文学・歴史・思想・芸術等、中国文化が育んできた諸成果を研究する「中国学」。

中国学は、長大な歴史的経験を経た先人達の膨大な知恵を効率よく吸収し、自己の思考の糧とすることができ、非常に優れた学問であり、また我々が未来に向けて行動する際に参照すべき「指針」や「教訓」の宝庫と言える。

本書では、古代から二十一世紀にいたる多様な中国文化及び日本に受容された中国文化「日本漢学」の研究方法について、具体例にもとづき丁寧に解説する。

「文字学（漢字）」、「中国文学（神話と詩）」、「中国女性史（列女伝）」、「中国古典テキスト（論語）」、「中国小説（三国志演義）」、「校勘学（国語）」、「日本漢学」、「域外漢籍」、「日・中書道」、「中国古典読解（漢文訓読）」をテーマとした、中国学の「方法」を学ぶための11章。

書 名	部 数
入門 中国学の方法	
二松學舎大学文学部中国文学科「編」	
ご送付先ご住所（通信欄）	

定価1,760円（本体価格1,600円）

A5判並製カバー装・264頁
ISBN 978-4-585-30005-2 C1000
2022年4月刊行

部

史学科の比較史

歴史学の制度化と近代日本

定価七、七〇〇円税込
(本体七、〇〇〇円)

A5判並製カバー装・六〇八頁
二〇二二年五月刊行
ISBN978-4-585-32017-3 C3020

●本書で取り上げる
大学・研究機関

東京帝国大学・史料
編纂所・京都帝国大学・
東北帝国大学・九州
帝国大学・京城帝国
大学・台北帝国大学・
建国大学・商科大学・
／東京商科大学(二橋
大学)・旧師範学校／
広島文理科大学(広島大
学)・早稲田大学・慶
應義塾大学・立教大学・
龍谷大学・皇典講究所・
國學院大学

私たちの社会と歴史との
関係のあり方は
どのように形作られてきたのか。
その淵源を探る――

近代日本に大学が創設されたころ、西洋の制度を取り入れるなかで、各
大学に歴史学を学ぶ「史学科」が設置された。近世以来の国学・漢学・洋学・
宗教学の系譜、当該大学の置かれた場と地域固有史料との関係など、
それぞれ固有の背景のもと、各「史学科」は独自の理念や方向性のもと
で展開し、近代日本の学的世界を形成した。そして、それらは現在まで
受け継がれ、私たちの社会と歴史との関係のあり方をも規定している。
帝国大学、植民地・外地の大学、官立大学、私立大学より十三の特筆すべ
き大学・機関を抽出。修史事業の開始した一八六九年から一九四五年に至
るまでの、帝国日本における史学科・研究機関の歴史をたどる。比較史的
アプローチより近代社会における史学科の展開と特徴を明らかにする画期
的成果。

目次

●序章 史学科をめぐるヒストリオグラフィー◎小澤実・佐藤雄基
第一部 帝国大学

●第一章 東京帝国大学…東京帝国大学における史学と国史——史料編纂
事業との関わりと卒業生進路から◎佐藤雄基

●第二章 史料編纂所…史料編纂所の歴史家たち——相田二郎を中心に◎近
藤成一

●第三章 京都帝国大学…創設期の京都帝国大学国史学の特質——時期区
分論と世界史◎上島亨

●第四章 東北帝国大学…創設期の東北大学日本史研究室◎柳原敏昭

●第五章 九州帝国大学…九州帝国大学法文学部における歴史学◎山口輝臣

第二部 植民地・外地の大学
●第六章 京城帝国大学・台北帝国大学・建国大学…京城帝国大学法文
学部の史学系講座とその歴史学研究——台北帝大・満洲・建国大学との比較
的視点を踏まえた考察◎永島広紀

第三部 官立大学
●第七章 商科大学／東京商科大学(二橋大学)…東京商科大学における日
本史教育◎夏目琢史

●第八章 旧師範学校／広島文理科大学(広島大学)…広島文理科大学・広
島高等師範学校における歴史学◎石田雅春

第四部 私立大学
●第九章 早稲田大学…早稲田大学史のなかの歴史学◎廣木尚

●第十章 慶應義塾大学…独立自尊の歴史学——田中幸一郎と三田史学の展
開◎堀和孝

●第十一章 立教大学…小林秀雄の時代——戦前戦中の立教史学科、史学
会、「史苑」◎小澤実

●第十二章 龍谷大学…大正・昭和戦前期の龍谷大学史学科——その沿革
と学風◎坂口太郎

●第十三章 皇典講究所・國學院大学…近代国学と国史学——國學院大學
の国史学科と国史学会◎藤田大誠

●終章 史学科の比較史へ◎佐藤雄基・小澤実

関係年表・執筆者紹介・人名索引

書 名		部 数
史学科の比較史——歴史学の制度化と近代日本 小澤実・佐藤雄基 [編]		定価7,700円・本体7,000円 A5判並製カバー装・608頁 2022年5月刊行 ISBN978-4-585-32017-3 C3020
ご送付先ご住所（通信欄）		

定価7,700円・本体7,000円

A5判並製カバー装・608頁

2022年5月刊行

ISBN978-4-585-32017-3 C3020

勉誠出版

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
東京都千代田区神田三崎町2-18-4 TEL.03-5215-9021 WEBSITE.http://bensei.jp/

FAX●03-5215-9025

中国道教美術史

漢魏晉南北朝篇

定価 38,500 円
本体価格 35,000 円B5判上製カバー装・552頁
ISBN978-4-585-37001-7 C3071
2022年2月刊行

李松〔著〕／土屋昌明・齋藤龍一〔監訳〕／廣瀬直記・熊坂聡美・因幡聡美〔訳〕

道教の美術とはなにか

道教の生成プロセスにまでさかのぼり、春秋戦国時代から漢そして三国時代にいたる、老子の神格化と視覚化の関係を「先道教美術」と位置付け、多くの新出資料を提示し徹底的に検討する。さらに南北朝時代北魏を「道教美術の成立」と定義し、北魏から隋時代にいたる膨大な道教像を時代ごとに整理し網羅的に集成、最新の研究に裏付けされた詳細な解説を付す。文献を中心とした道教研究とは一線を画し、現地調査による道教空間への接近、帛書・銅鏡・画像石・書法・絵画・彫刻など、道教美術研究の第一人者による「モノ」を起点とした総合的な考察の成果を示す。道教美術の全貌をオールカラーによる豊富な図版と共に紹介する大著、待望の邦訳。



【目次】

前言 李 松
訳者説明

第一章 先道教美術

はじめに 「先道教美術」について
第一節 楚墓の文物から見た人と鬼神が共存する世界
第二節 漢晋銅鏡：羽人から諸神の出現へ
第三節 漢代の老子図像
第四節 洛陽から陝北へ：地下にあるカラーの天界
春秋戦国～漢代道教美術年表

第二章 引用と相互作用： 南北朝時代から隋時代の道教石刻造像

はじめに 未完成の道教図像に関する設計書
——顧愷之『画雲台山記』
第一節 北魏：長安から耀県へ
第二節 西魏「大統」時代
第三節 北周・北斉：限りある発展
第四節 隋代：天尊の出現
三国～隋代道教美術年表

訳者あとがき
著訳者紹介

【著者紹介】

李松（ペンネーム：李湫、りしょう、Li Song）北京大学芸術学院教授、美術学博士。専門は中国宗教美術史。
著書に『神聖図像 李湫中国美術史文集』（人民出版社、2016年）、『陝西仏教芸術』（文物出版社、2008年）、『遠古至先秦絵画史』（人民美術出版社、2004年）、『長安芸術と宗教文明』（中華書局、2002年）など。編著に『道教美術新論—第一屆道教美術史国際研討会論文集』（山東美術出版社、2008年）などがある。この分野で中国を代表する研究者である。

【訳者紹介】

土屋昌明（つちや・まさあき）専修大学国際コミュニケーション学部教授。専門は中国文学・思想史。
編著書に『道教の聖地と地方神』（ヴァンサン・ゴースールとの共編、東方書店、2016年）、論文に「女性道士焦真静の巡礼」（日本道教学会『東方宗教』第132号、2020年8月）、「黄泉国と道教の洞天思想」（日本古事記学会『古事記年報』58、2016年3月）などがある。**齋藤龍一**（さいとう・りゅういち）大阪市立美術館主任学芸員。専門は中国仏教・道教美術史。
編著書に『展覧会図録『道教の美術』（読売新聞社、2009年）、論文に「中国南北朝時代における維摩像の展開と地域性—道教像との図像的関連に注目して—」（『仏教芸術』第6号、2021年3月）、「唐時代における石造道教像の研究—老君・天尊像を中心に—」（『國華』第1485号、2019年7月）などがある。**廣瀬直記**（ひろせ・なおき）

専修大学経済学部非常勤講師。専門は中国宗教史・思想史。

熊坂聡美（くまさか・さとみ）成城大学民俗学研究所研究員・成城大学文芸学部非常勤講師。
専門は中国仏教美術史。**因幡聡美**（いなば・さとみ）

専門は中国仏教美術史。



書 名	部 数
中国道教美術史 漢魏晉南北朝篇 李松〔著〕／土屋昌明・齋藤龍一〔監訳〕 廣瀬直記・熊坂聡美・因幡聡美〔訳〕	定価 38,500 円（本体価格 35,000 円） B5判上製カバー装・552頁 2022年2月刊行 ISBN978-4-585-37001-7 C3071
ご送付先ご住所・氏名（通信欄）	

コレクションとアーカイヴ

東京大学東洋文化研究所教授

東京大学東洋文化研究所教授

板倉聖哲・塚本麿充〈編〉

東アジア美術作品を体系的に捉えるためには、画像と、所在情報・コレクションの来歴などのアーカイヴ整備による、研究のプラットフォームの構築が不可欠である。その先駆的な営為である『中国絵画総合図録』が半世紀を経て三編の完結を見た。アーカイヴ構築のために先人はどのように考え、行動してきたのか。これからのデジタル・アーカイヴの時代にどのように対応し、展開していくのか。東アジア美術研究を領導する豪華執筆陣による論考を収載。

コレクションとアーカイヴの連環がもたらす最先端の研究視角を鮮やかに提示する。

はじめに

●はじめに「板倉聖哲」

I……東アジア美術研究：過去から未来へ——コレクションとアーカイヴ

●東洋文化研究所東アジア美術研究室 半世紀の歩み——『中国絵画総合図録』三編完結まで「板倉聖哲」(附・参考資料／歴代教授履歴業績)

●正倉院宝物と中国の死後世界「ユキオ・リビット」／呂晨晨 ●唐絵研究の可能性——半島由来絵画を中心に「井手誠之輔」

●二十世紀前期の文物調査と中国美術史の発展「石守謙」

II……東アジア美術研究の現在

●受戒と仏像「長岡龍作」 ●唐宋画牛考「竹浪 遠」 ●宋帝后画像について——東アジア中世の帝王画像における宗教性と世俗性「陳韻如」

●後堀河院の絵巻制作と蓮華王院宝蔵「増記隆介」 ●浄土五祖像の成立をめぐる「朝貫 浩」 ●惟肖得嚴賛李白觀瀑図試論——馬遠派觀瀑図の受容「教仁 櫻秀明」

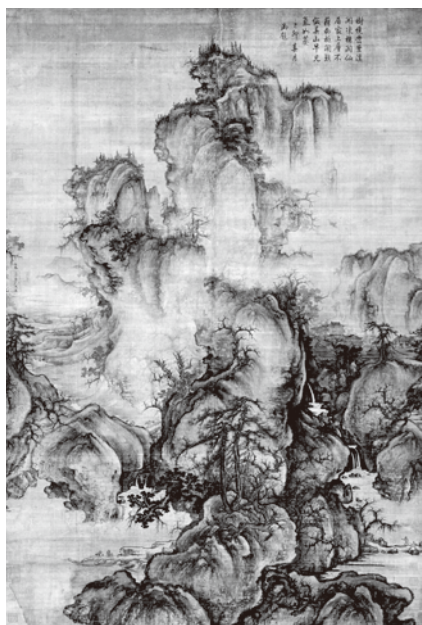
●洞天福地への旅——明代蘇州における旅行絵画の一面「福松 瑞希」 ●東アジア絵画史の視点から考える花鳥画研究——呂紀と沈銓・南蘋派を例に「黄立芸」

●アーカイヴとしての狩野派模本「田沢 裕智」 ●中国近代と仏教絵画——金石から人物表現、アジア認識へ「塚本 麿充」

●「旧王孫」が紡いだ詩画の縁——溥儒と須磨弥吉郎、そして伊藤紫虹の「合作」について「呉 孟晋」

●おわりに「塚本 麿充」 ●執筆者一覧

東アジア美術研究の可能性——收藏與圖像檔案庫 中文摘要



図版掲載点数
250点超！

郭熙「早春図」
北宋・熙寧五年(一〇七二)
台北・國立故宮博物院藏

東アジア美術研究の可能性

定価一〇、四五〇円(税込)
(本体九五〇〇円)
A5判上製カバー装・五二〇頁
二〇二二年一月刊行
ISBN978-4-585-37000-0 C3071

書名	部数
コレクションとアーカイヴ——東アジア美術研究の可能性 板倉聖哲・塚本麿充〈編〉	部
ご送付先ご住所(通信欄)	

定価10,450円・本体9500円
A5判上製カバー装・520頁
2022年1月刊行
ISBN978-4-585-37000-0 C3071

勉誠出版

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
東京都千代田区神田三崎町2-18-4 TEL.03-5215-9021 WEBSITE.http://bensei.jp/

FAX●03-5215-9025

福州版一切経調査研究会

編

宋版一切経（福州版） 調査提要

本源寺蔵の調査を通して

東アジアの仏教伝播、そして、

木版印刷の文化伝播を考える上で、
各地に襲蔵される「宋版一切経」は
避けては通ることのできない
重要な文化遺産である。

近年、書誌学的・目録学的研究の進展を見せる

「宋版一切経」の中でも「福州版」について、
実際の調査の中から得られた、
特徴的な装訂・版式、

補刻の様相や印記等に関する知見を提示。

さらには、関連論文、附録を収載した、

初めての「福州版一切経」調査ハンドブック。

【福州版一切経調査研究会（五十音順）】

上杉智英 京都国立博物館研究員
落合俊典 国際仏教学大学院大学教授
高橋悠介 慶應義塾大学附属研究所道文庫准教授
中村一紀 三の丸尚蔵館調査補佐員
野沢佳美 立正大学文学部教授
前島信也 国際仏教学大学院大学日本古写経研究所研究員
牧野和夫 実践女子大学名誉教授、
国際仏教学大学院大学日本古写経研究所特別研究員
南 宏信 佛教大学講師
矢口郁子 開成中学・高等学校教諭
(故) 渡辺信和 元同朋大学仏教文化研究所研究室長

目次

はじめに

大蔵経調査の必要性

一 印刷漢文大蔵経の簡紹・説明と福州版大蔵経の問題点

二 福州版大蔵経——『東禪寺版（一切経）』『開元寺版（一切経）』

三 調査——その現場と調査など

四 書物としての宋版一切経——書物各部の名称・版式としての名称など

A 福州版の装訂について

B 調査項目の解説と記入の実例・注意点

① 千字文番号と函収納の順序——調書余白の利用

② 調査年月日と調査者名の記入

③ 「表紙」④ 寸法と併せて

⑤ 「外題」

⑥ 存「完存・欠（前・途中・後）断簡・殆ど損傷」

⑦ 刊・写

⑧ 見返し・共紙・その他

⑨ 印記——巻首尾の題記・版心などの施財刊語など

⑩ 内題——附、印造記・板数・面数・界高・版心（柱）位置を併せて

⑪ 版心——附、印造記・板数・面数・界高・版心（柱）位置を併せて

⑫ 尾題——刊行（場）列位・（尾題記）

⑬ 五 応用篇

A 面数と厚さ——五面一紙混入のことなど——

B 題記・入れ木（埋め木）

C 混合帖など

論考

宋版大蔵経と女性刻工……野沢佳美

書陵部蔵福州版一切経の本文欠落巻について……中村一紀

宋版一切経補刻葉に見える「下州千葉寺了行」の周辺……牧野和夫

附録

題記一覧——本源寺蔵を軸に——

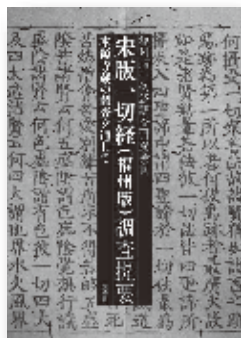
主要参考文献一覧（福州版一切経関連に限る）

用語索引

あとがき……牧野和夫

執筆者一覧

執筆者一覧



定価 **7,150** 円・(本体価格6,500円)

A5判並製・304頁
ISBN 978-4-585-31010-5 C3015
2022年3月刊行

書名	部数
宋版一切経(福州版)調査提要 本源寺蔵の調査を通して 福州版一切経調査研究会 [編]	定価 7,150 円(本体価格6,500円) A5判並製・304頁 ISBN 978-4-585-31010-5 C3015 2022年3月刊行
ご送付先ご住所・氏名（通信欄）	

日本中世の課税制度

段銭の成立と展開

志賀節子

[編]

アジア遊学 270

三枝暁子

日本中世の

「公共事業」を支えた税制を探る

段銭（反銭）は、田一反毎に一定額の銭を一律に賦課した中世特有の税制である。

朝廷・幕府の行う国家的行事や、寺社の造営・修造などを名目として臨時に賦課徴収された。

その実態は時期により変容しており、

室町幕府をはじめ守護や寺社など、様々な賦課主体が、どのように段銭を徴収していたのかについては、

これまで十分には検討されていない。

国家中枢から在地社会に至るまでの諸階層が、深く関与していた段銭徴収の実態を探ることで、

日本中世の収取構造、さらには税制を通じた支配秩序の形成過程を明らかにする。

[編者紹介]

志賀節子（しが せつこ）

賀茂別雷神社史料編纂会委員。専門は日本中世史。

主な著書：論文に「中世荘園制社会の地域構造」（校倉書房、二〇一七年）、賀茂別雷神社境内六郷における収取制度と本役正税」（東京大学史料編纂所研究成果報告二〇二〇—三）賀茂別雷神社の所領と氏人（二〇二二年）などがある。

三枝暁子（みえだ あきこ）

東京大学大学院人文社会系研究科准教授。専門は日本中世都市史・身分制論。

主な著書に「比叡山と室町幕府——寺社と武家の京都支配（東京大学出版会、二〇一一年）、「京都 天神をまつる人びと——ずいきみこしと西之京」（写真 西村豊）（岩波書店、二〇一四年）などがある。

[目次]

序章

論集の刊行意図と本書の構成：志賀節子
段銭研究の現状と課題：高木 純

I 室町幕府段銭収取制度の成立と展開

平安・鎌倉期の段米・段銭

——国平均役との関係を中心に：永松圭子

足利義満政権下での官庁段銭について：辰田芳雄

康正二年造内裏段銭の収納機関

——国立国会図書館本「造内裏段銭并国役引付」の検討から

……永山 愛

室町幕府將軍直臣編成の展開と京・守護不入特権：松井直人

室町期京都における地口銭賦課体制の成立過程：長崎健吾

II 荘園領主段銭の諸様相

戦国期北野社の領主段銭：三枝暁子

戦国期賀茂別雷神社の収取制度と段銭：志賀節子

「史料紹介」戦国時代の調符・段銭請取状の料紙：石川美咲

III 守護・戦国大名段銭の変容過程

天文七年の山城下郡段銭と三好政長：馬部隆弘

十五世紀後半における備後守護山名氏の段銭収取と国人

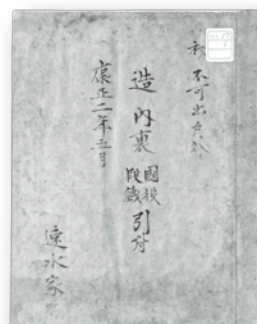
……伊藤大貴

戦国大名毛利氏による備中一宮社領への段銭賦課：吉永隆記

大内氏分国における段銭収取システムと知行制：川岡 勉

終章

段銭研究の可能性——成果と課題：三枝暁子



定価二、〇八〇円（税込）
本体二、八〇〇円

A5判並製カバー装・二三四頁

二〇二二年五月刊行

ISBN978-4-585-32516-1 C1321

書 名	部 数
日本中世の課税制度 段銭の成立と展開 志賀節子・三枝暁子 [編] [アジア遊学 270]	定価3,080円（税込）・本体2,800円 A5判並製カバー装・224頁 2022年5月刊行 ISBN978-4-585-32516-1 C1321
ご送付先ご住所（通信欄）	

近代中国美術の 境界

瀧本弘之・戦晓梅 [編]

知られざる、
東アジア美術交流史

清朝崩壊からの約半世紀、中国大陸は中心のない空白時期で政治・経済・文化ともに無秩序の混乱が続いた。

そうした中でも、美術家や団体は、海外や美術界の「外」との交流や接触により、新しい藝術思潮や動向に強い関心を寄せて美術活動を展開した。そこには多様な豊かな美術・文化が息づいていた。

中国の画家は日本の美術界とどのように関わり、独自の作品世界を形成していったのか。中国美術史の記述は日本からどのような影響を受けたのか。また、美術品はどこでどのように収蔵されてきたのか。

美術作品をめぐる人的ネットワーク、海を越えて伝えられたコレクションの変遷にも着目し、多角的な視点から近代中国美術の実像に迫る。

【編者紹介】

瀧本弘之（たきもとひろゆき）

著述家・中国版画研究者。専門は美術一般、古版画・近現代版画。主な編著書に『中国古典文学挿画集成（一）』（十）（遊子館、一九九〇～二〇一二年）など。

戦晓梅（せんぎょうばい）

東京工業大学准教授。専門は日中近代美術交流史。主な著書に『鉄斎の陽明学』（勉誠出版、二〇〇四年）など。

【目次】

序説「近代中国美術の境界」への随想…瀧本弘之

Ⅰ 美術をめぐる、美術を超えて

「西湖藝展」開催の経緯——「斎藤佳三資料」を手がかりに…吉田千鶴子

上海租界のフランス語新聞にみる近代中国美術

——林風眠と杭州国立藝術院を中心に…趙怡

一九三〇年代の北平画壇のグリーンブス…瀧本弘之

長尾雨山の近代日中美術交流における貢献…松村茂樹

魯迅とケーテ・コルヴィッツ

——日本プロレタリア美術運動との関わりを中心に…東家友子

Ⅱ 日本に行く画家、中国に行く画家

徐悲鴻と文展作品

——そこから得たもの…華天雪（翻訳・林佳美／翻訳協力…李趙雪）

「コラム」嶺南画派と日本…李趙雪

広東から来た前衛画家

——一九三〇年代の東京における李仲生の画業について…呉孟晋

「コラム」近代中国における「裸体画論争」

——日本との比較を視野に入れて…龔珏

朝鮮近現代美術史を歩んだ洋画家・鄭温女

——ある女子美術専門学校卒業生の生涯…畑山康幸

「コラム」顕現と隠蔽——従軍画家の描いた戦時中の中国…劉建輝

Ⅲ 中国美術品の収蔵、中国美術史の記述

チェコのコレクターと近代中国絵画…オリボバルツイエ（翻訳…東家友子）

近代書画碑帖収蔵史について…下田章平

廉泉「小萬柳堂書画コレクシヨ」の初来日再考

——「南湖東遊日記」を主な手掛かりに…戦晓梅

外国人宣教師の目録でつくられた土山湾孤児院の黄楊人形

——天理参考館所蔵資料を例にして…中尾徳仁



定価二、八五〇円（税込）
本体三、五〇〇円

A5判並製カバー装
カラー口絵四頁+本文三六八頁
二〇二二年五月刊行
ISBN978-4-585-32515-4 C1370

アジア遊学
269



書名	部数
近代中国美術の境界 越境する作品、交錯する藝術家 瀧本弘之・戦晓梅 [編] 【アジア遊学 269】	定価3,850円（税込）・本体3,500円 A5判並製カバー装・カラー口絵4頁+本文368頁 2022年5月刊行 ISBN978-4-585-32515-4 C1370
ご送付先（氏名・住所・電話番号）	

勉誠出版

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
千代田区神田三崎町2-18-4 TEL.03-5215-9021 WEBSITE.http://bensei.jp/

FAX●03-5215-9025

白井千晶 [編著]

アジアの出産とテクノロジー

リプロダクションの最前線



アジア遊学 268

産むこと・産まないことは誰が決めるのか？

現在、アジアの様々な地域の出産において、

「生命を救うため」ではなく、

「生命を選ぶため」に、

生殖技術、出生前検査、人工妊娠中絶などの

テクノロジーが用いられている。

代理出産や卵子提供といった生殖ツーリズムが

巨大でグローバルなマーケットになっている。

その問題点や課題は何か。

また、出産をめぐるシステム、マタニティ政策は、

国・地域、法制度・宗教、歴史・文化によって

どのような差異・共通点をもつのか。

テクノロジーの利用から

産後の養生の現在まで、

変容するアジアの出産の最前線を捉える。



目次

はじめに——アジアのリプロダクション……白井千晶

I テクノロジー

——出生前検査・生殖技術・人工妊娠中絶

アジアにおける出生前検査と障害観

——ベトナム・ミャンマー・フィリピン調査から……白井千晶

生命リスク回避の「テクノロジー」と優生願望

——中国・台湾の出生前検査を事例に……姚 毅

「コラム」韓国における出生前検査……洪 賢秀

アジアの不妊への対処と非血縁的親子関係

——ベトナム・ミャンマー・フィリピンの第三者が関わる

生殖医療と養子縁組に関するインタビューより……白井千晶

「コラム」宗教の違いは「自然」か？

——インドにおける配偶子ドナーの選定……松尾瑞穂

「コラム」タイ人女性にとつての産むこと・産まないこと……嶋澤恭子

「コラム」家族計画の優等生——インドネシア……松岡悦子

南アジア地域における中絶と日常的倫理

——法・生命観・実践……松尾瑞穂

「コラム」韓国社会における妊娠・出産をめぐる変化

——墮胎罪の議論からのぞく……洪 賢秀

「コラム」仏教国ブータンにおける人工妊娠中絶……嶋崎麻紀子

II マタニティ政策——母子保健・妊娠・出産・育児

出産環境を選ぶということ——日本……田間泰子

アジアの少子社会・日本と男性の産育参加……澤田佳世

ネパールにおけるリプロダクション政策と母性観の変容……嶋崎麻紀子

「コラム」一人つ子政策終了後の中国……小浜正子

「コラム」台湾の助産師（士）……姚 毅

インドネシアの三十年間のマタニティ政策をふりかえって

——ドゥクンとビタンの一八九九年～二〇一九年……松岡悦子

「コラム」韓国の出産と産後調理院……松岡悦子

「コラム」ラオスにおける産後女性の慣習

——ユーファイを巡って……嶋澤恭子

おわりに——アジアにおける出生システム……白井千晶

編著者プロフィール

白井千晶（しらい・ちあき）

静岡大学人文社会科学部教授。

専門は家族社会学、医療社会学、リプロダク

ションの社会学。

主な著書に『フォスター——里親家庭・養子縁

組家庭・ファミリーホームと社会的養育』（生活

書院、二〇一九年）、『産み育てと助産の歴史

近代化の 200年をふり返る（編著、医学書
院、二〇一六年）、『不妊を語る——19人のライフ
ヒストリー』（海鳴社、二〇二二年）などがある。

定価 3,080 円（税込）
本体 2,800 円

A5判並製カバー装・256頁
ISBN978-4-585-32514-7 C1330
2022年3月刊行

書 名	部 数
アジアの出産とテクノロジー リプロダクションの最前線 [アジア遊学 268] 白井千晶 [編著]	定価 3,080 円（税込）・本体 2,800 円 A5判並製カバー装・256頁 2022年3月刊行 ISBN978-4-585-32514-7 C1330
ご送付先ご住所・氏名（通信欄）	

中国の娯楽とジェンダー

女が変わる／女が変わる

アジア遊学 267

中国ジェンダー研究会「編」

男装から、

少女レビュー、グラフ誌まで

二十世紀前半、上海を中心に多彩な娯楽が花開く。この地で女性が舞台やスクリーンに登場し、大衆を魅了する「女性による娯楽」が隆盛した。それは次第に日本や世界へと伝播していく。女性たちはどのように娯楽を変え、

また女性たち自身は娯楽を通してどう変わったのか。映画、ラジオ、有線放送、新聞・雑誌、演劇、ダンス、スポーツ、旅行など様々な娯楽のフィルターを通して

その諸相を明らかにする。

ジェンダー論、女性史をはじめ、文学、歴史学、比較文化史、映画史、舞踏史、演劇学、音楽学など多角的視角から、複数言語史料を用いて娯楽を掘り起こし、

中国研究ひいては従来の大衆娯楽研究や盛り場研究の再構築をめざす意欲的な一冊。



目次

はじめに——中国の娯楽とジェンダーへの招待……大濱慶子

第Ⅰ部●発信・享受する娯楽

男装するモダンガール——映画『化身姑娘』シリーズと女性観客……菅原慶乃
女性冒険家とラジオ放送——上海フランス租界のクロード・リヴィエール……井口淳子

上海租界のフランス語新聞が報じた中国映画とスターたち……趙 怡
『近代婦女』——中国初の女性向けグラフ誌……江上幸子

つながる女性たち——戦時期『上海婦女』を中心に……須藤瑞代
東北農村の「小喇叭」——有線放送と私的空間の集団化……横山政子

第Ⅱ部●演じる娯楽

上海の少女レビュー・ビジネスの隆盛と衰退——（見られる）性と身体表現……星野幸代

上海の日系ロシア人詩人・ダンサー、ラリッサ・アンデルセンの半生……須佐多恵

姉妹の越劇——姚水娟・袁雪芬・尹桂芳の時代……中山 文
晋劇史上初の「女老生」——丁果仙の形象とその影響……陳 鳳

第Ⅲ部●体験する娯楽

近代中国における女子スポーツの娯楽化……游 鑑明（天神裕子訳）
女子学生の団体旅行——占領下北京における日本見学旅行記を中心として……杉本史子

戦後再生される社交ダンス——労働者の娯楽へ（平等）の身体化の日中比較……大濱慶子
中国農村におけるキリスト教とジェンダー——「娯楽」と規制のあいだで……石川照子

【編者紹介】

中国ジェンダー研究会

二〇一六年より主に中国をフィールドとし、ジェンダー研究に関心を持つ大学教員、研究者が集まり関西を中心に活動を行う研究会。現在、中国女性学、ジェンダー研究をはじめ、女性史、文学、歴史学、社会学、比較文化史、比較教育学、演劇学、音楽学、映画史、舞踏史、フランス語、ロシア語などを専門とする研究者が参加し、さまざまな視角から従来にはない新しい研究の開拓に取り組んでいる。



書 名	部 数
中国の娯楽とジェンダー 女が変わる／女が変わる 【アジア遊学 267】 中国ジェンダー研究会「編」	定価 3,080 円（税込）・本体 2,800 円 A5判並製カバー装・240頁 2022年3月刊行 ISBN978-4-585-32513-0 C1330
ご送付先 ご氏名・ご住所（通信欄）	

大日本帝国期の建築物が語る近代史

過去・現在・未来

アジア遊学 266

歴史的建築物は誰のものか？

「負の遺産」とされる傾向にあった大日本帝国期の建築物は、近年、カフェやホテルに変貌し、なかには歴史遺産に認定されたものもある。こうした変化は何を意味しているのか。そもそもなぜ、どのように建てられ、帝国崩壊後はいかなる歴史を歩み、現在はどうのように位置づけられているのか。建築時の状況、植民地支配に果たした役割、保存や破壊をめぐる政治、歴史遺産への認定、現在の活用実態など、植民地建築をめぐる多様な問題を、文化人類学、建築学、観光学、建築史、思想史、メディア学など多角的視点からよみとく。過去の遺物としてではなく、ひとつひとつの価値観や歴史認識を映し出す鏡としてとらえ、旧植民地への理解や今日のアジアと日本の問題を考える手がかりを示す。

【目次】

序言 大日本帝国期の建築物が語る近代史

——過去・現在・未来——上水流久彦

I 大日本帝国期の建築物を俯瞰する

東アジアにおける日本の支配と建築……西澤泰彦

大日本帝国と海外神社の創建……中島三千男

旧植民地の建築物の現在——多元的価値観の表象……上水流久彦

II 大日本帝国に建築物を刻む

帝国が残した国立博物館と戦後の社会

……藤野陽平、バイチャゼ・スヴェトラナ

帝国日本の南北に建設された製糖工場と社宅街……辻原万規彦

開拓と宣教のせめぎ合い

——北海道のキリスト教建築にみる

まなざしのポリティクス……藤野陽平

樺太期の「産業」の遺構は何を伝えるのか……平井健文

III 大日本帝国期の建築物を活用する

「満洲」日本統治期の建造物の今

——満洲映画に映された中国東北地方の建造物を中心に……林 楽青

監獄博物館とノスタルジア

——「ダークツーリズム」を暗くするもの、明るくするもの……藤野陽平・芳賀恵

紅樓の現在——台湾社会の写し鏡の場としての歴史遺産……上水流久彦

「日本」と「近代」を観光化すること——韓国九龍浦の事例から……中村八重

帝国医療の想起と忘却——旧南洋群島の病院建築物から……飯高伸五

台湾東部における神のいない「神社」……西村一之

IV 大日本帝国期の建築物を保存する／破壊する

東アジアにおける建築系産業遺産の保存と活用……市原猛志

市庁舎は誰のもの？

——国登録有形文化財・大牟田市庁舎をめぐる事例より……永吉守

沖縄の近代の語られ方——沖縄戦で消えた建築物……上水流久彦

台湾の日式建築を残す人びと——何を思い、いかにたたかったのか……渡邊義孝

近代化と戦災の記憶を残す——旧広島陸軍被服支廠をめぐる……高田真

定価 3,080 円(税込)
本体 2,800 円

A5判並製カバー装・248頁
ISBN978-4-585-32512-3 C1352
2022年2月刊行

書 名	部 数
大日本帝国期の建築物が語る近代史 過去・現在・未来 【アジア遊学266】 上水流久彦 [編]	部
ご送付先ご住所・氏名 (通信欄)	

定価 3,080 円(税込)・本体2,800円

A5判並製カバー装・248頁
2022年2月刊行
ISBN978-4-585-32512-3 C1352

部

都市からひもとく 西アジア

歴史・社会・文化

アジア遊学
264

【目次】

守川知子〔編〕

人の営みが映し出す歴史像

西アジアは古くから都市文明や都市国家の栄えた地域である。
この地につくられた都市は、市壁を備え、
その内側にモスクや市場、居住区、城塞や宮殿を築くという特徴をもつ。
各都市は、周辺の農村や街道など複数のネットワークのなかに位置し、
地域社会のななめとして機能した。

遠距離交易の拠点でもある都市は、イスラーム教徒、キリスト教徒、
ユダヤ教徒のほか、ヨーロッパやインドやアフリカからの
旅人や商人など多様な人々が暮らしていた。
東はアフガニスタンから西はエジプトまで、

学術都市、商業都市、観光都市、
軍営都市、要塞都市、港湾都市など、
様々な顔をもつ19世紀の
西アジアの歴史都市に焦点をあてる。

文献史料・絵図・地図の読み解きから
都市社会を多角的に検証し、
今に受け継がれるその歴史と文化を探る。
都市社会の多様性を描き出し、
新たな歴史像を提示する。



【編者紹介】

守川知子（もりかわ・ともこ）

東京大学大学院人文社会系研究科准教授。専門は西アジア史。主な著書に『シリア派聖地参詣の研究』（京都大学学術出版会、二〇〇七年）、編著に『移動と交流の近世アジア史』（北海道大学出版会、二〇一六年）などがある。

「まえがき」都市からひもとく西アジア」に寄せて ● 守川知子
I 都市をつくる——建設・形成と発展
ムスリムがはじめて建設した都市バスラ
——軍営都市から経済と学術の都市へ ● 亀谷学
「二つの春の母」モスルの一二・二三世紀
——ザンギー朝下の建設と破壊 ● 柳谷あゆみ
スルタンとシヤールの新たなギャンジャ ● 塩野崎信也
「コラム：西アジアの港市①」港市マスカトとポルトガル人
——絵図に見る一六—一七世紀の植民都市 ● 大矢純

II 都市に生きる——人びとと都市社会
アレツボが「シリア派の街」であった頃 ● 谷口淳一
ティムール朝期のヘラートにおける聖者たち ● 杉山雅樹
境界上の都市アインターブ——「良き泉」の町 ● 中町信孝
「コラム：西アジアの港市②」船乗りたちが集う町アデン ● 栗山保之

III 都市を活かす——政治的・経済的機能
フランク人支配下の都市エルサレム
——観光産業都市への発展 ● 櫻井康人
山城から平城へ
——近世クルディスタンにおける都市機能の変容 ● 山口昭彦
「コラム：西アジアの港市③」民族の交差点「ハイファ」
——近代東地中海の国際港湾都市 ● 田中雅人

IV 大都市を彩る——三都物語
イスファハーンは世界の半分？ ● 守川知子
ナポレオン地図から読み解くカイロ
——マイノリティに注目して ● 深見奈緒子
ノスタルジックな近代
——一九世紀イスタンブールの都市空間と都市行政 ● 川本智史

定価 二、〇八〇 円（税込）・本体 二、八〇〇 円

A5判並製カバー装・本文二七二頁

二〇二一年十二月刊行

ISBN978-4-585-32510-9 C1322

書 名	部 数
都市からひもとく西アジア 【アジア遊学264】 歴史・社会・文化 守川知子 〔編〕	部
定価 3,080 円（税込）・本体 2,800 円 A5判並製カバー装・272頁 2021年12月刊行 ISBN978-4-585-32510-9 C1322	
ご送付先ご住所（通信欄）	

ことば・ほとけ・凶像の

交響 法会・儀礼とアーカイヴ

近本謙介【編】

【目次】

カラー口絵

緒言◎近本謙介

第一部 ことばの響き

中世日本の唱導におけるほとけとことば——説経師の宗教テキスト・アーカイヴス◎阿部泰郎
信貴山と中世聖徳太子伝◎猪瀬千尋

河内源氏の供養と鎌倉幕府の成立——安居院流唱導の表白を題材として◎山野龍太郎
アーカイヴとしての『扶桑略記』◎三好俊徳
蒙書『上大人』・『土土由山水』と禅師語録における運用について◎任 占鵬
『維摩経』をめぐる法会・文芸・芸能——『春日権現験記絵』を視座として◎近本謙介

第二部 ほとけの響き

浄土寺浄土堂の造形と思想◎富島義幸
宣陽門院の宗教空間におけるほとけとことば

——東寺西院御影堂の中世的発展と貞慶の『舍利講式』をめぐる◎阿部美香
儀礼空間に託された信仰のかたち——高野山大伝法院本堂を中心として◎郭 佳寧
コラム・『華嚴経』を見ること、聞くこと、飲み込むこと

——論義における中世僧侶の教理意識とその周辺◎野呂 靖
北条時頼の臨終儀礼再考——俊仍・泉涌寺僧請来の宋代仏教儀礼・作法の視点から◎西谷 功
通受の背景◎大谷由香

第三部 凶像の響き

古代・中世仏教儀礼における造形の役割——行儀・凶像・テキスト◎泉 武夫
新出の列女伝図・列士伝図について——楚平伯鳳図、聶政図の断片◎黒田 彰
十王信仰初期の変容と唱導◎荒見泰史
神奈川県小田原市総世寺所蔵の十王二使者図について◎橋本遼太
立川流『阿字観』とその伝本

——仁和寺蔵『五智蔵秘抄』の後半部を伝える聖教をめぐる◎海野圭介
文観房弘真が織りなしたテキストの地平
——『御遺告七箇大事』と『三尊合行法』◎ラポー・ガエタン
称名寺素睿本神祇書一結と神道灌頂◎高橋悠介

第四部 アーカイヴとの共鳴

鎮護国家の仏教と列島の景観——仏法・王法相依の儀礼と地域統治◎松尾恒一
民俗社会の信仰と知識——奥三河宗教文献研究の現在◎松山由布子
コラム・『男ノ心』は何と同じか——九華山地蔵寺所蔵文献から◎山崎 淳
史料紹介・壬辰請援第一陣の記録——柳夢鼎の燕行録『壬辰赴京日記』◎程 永超

あとがき◎近本謙介

人びとの祈りのかたちを表す法会や儀礼は、
ことば・ほとけ・凶像が統合的に機能する
空間のうちに執行されてきた。
唱導や文芸のことば、仏像彫刻や
それを荘厳する寺院空間、
凶像や絵画、さらには宗教空間で執り行われる
法会・儀礼の次第や所作、
それらを支える教理・教学——
諸種の要素の響き合いにより営まれた
法会・儀礼の実際を、寺院に伝持されてきた
アーカイヴを紐解くことで明らかにする。

領域横断的・複合的な議論と方法論を示す

四部二十三編の論考が奏でる法会・儀礼学の最新機軸。

定価 二二、一〇〇円（税込）
（本体 二一、〇〇〇円）

B5判上製カバー装
カラー口絵一六頁＋本文五二八頁
二〇二二年三月刊行
ISBN978-4-585-31009-9 C3015

【編者紹介】

近本謙介（ちかもと・けんすけ）一九六四年生まれ。名古屋大学文学
研究科教授。専門は中世宗教文芸。著書に『春日権現験記絵注解』『神戸
説話研究会編 和泉書院、二〇〇五年・二〇一四年改訂重版』『天野山金
剛寺善本叢刊第一期・第二巻「因縁教化」共編著、勉誠出版、二〇一七
年』『玄奘三蔵 新たな玄奘像をもとめて（共編著、勉誠出版、二〇二
一年）』『宗教遺産学の創成』編著、勉誠出版、二〇二二年などがある。

書 名		部 数
ことば・ほとけ・凶像の交響 法会・儀礼とアーカイヴ 近本謙介【編】		部
定価13,200円(税込)・本体12,000円 B5判・上製カバー装・カラー口絵16頁・本文528頁 2022年3月刊行 ISBN978-4-585-31009-9 C3015		
ご送付先ご住所（通信欄）		

定価 13,200円（税込）・本体12,000円
B5判・上製カバー装・カラー口絵16頁・本文528頁
2022年3月刊行
ISBN978-4-585-31009-9 C3015

木俣元一／近本謙介……………編

宗教遺産 テキスト学の創成

「祈り」という人類の普遍的・根源的営みのなかで構築された宗教は、それを信仰し担う人々により、多種多様な形をもって大切に守られ、伝えられてきた。

また、一方で、人間と宇宙の根源的な在り方を規定する拠り所であるが故に、

世界認識における解釈の対立を生じ、時には宗教間の軋轢や破壊を呼び起こすきっかけともなった。

「宗教遺産テキスト学」とは、

人類によるあらゆる宗教所産を、多様な「記号」によって織りなされた「テキスト」とみなすことで、

その構造と機能を統合的に解明し、人類知として再定義することを目的とし、

「コト」と「モノ」を一体化する新たな学術領域である。

宗教遺産を人類的な営みとして横断的かつ俯瞰的に捉え、

ひと・モノ・知の往来により生成・伝播・交流・集積を繰り返すその動態を、

精緻なアーカイヴ化により知のプラットフォームを構築することで、多様性と多声性のなかに位置づける。

文理を超えた三篇七章、四十の論考により示される、人類の過去・現在・未来をつなぐ新視点。



【執筆者一覧】

第一篇：近本謙介・宮治昭・上枝いづみ・影山悦子・檜山智美・濱田瑞美・森雅秀・

大谷由香・荒見泰史・程永超・横内裕人・三好俊徳・富島義幸・本井牧子・

第二篇：木俣元一・秋山聰・松田陽・高橋沙奈美・栗田秀法・周藤芳幸・水野千依・

松井裕美・石原美奈子・伊東未来・出口顯・佐々木重洋

第三篇：梶原義実・小田寛貴・河江肖刺・遠藤守・井上隼多・野原裕太・阿部泰郎・

三谷真澄・野呂靖・小池淳一・楠淳澄

【目次】

カラー口絵
宗教遺産テキスト学序説

第一篇 生成・動態の解明
——源流と伝播のメカニズム

第二部 交流と集積の実態解明
——仏教文獻・図像の源流および諸地域への伝播の解明

第三部 日本における宗教美術の形成・伝来・復元
——東アジアにおける祈りの記録と記憶

第二篇 多様性・多声性の解明
——「文化遺産」と「宗教」の歴史と理論

第四部 「宗教遺産テキスト学」の基盤構築に向けて
——「宗教遺産テキスト学」の基盤構築に向けて

第五部 宗教実践の多様性と遺産化をめぐる諸問題
——宗教実践の多様性と遺産化をめぐる諸問題

第三篇 文理融合による新展開と未来への発信
——文理融合による新展開と未来への発信

第六部 宗教遺産先端アーカイヴ構築と発信
——宗教遺産先端アーカイヴ構築と発信

あとがき／執筆者一覧

定価 **16,500**円・(本体価格15,000円)
B5 判上製・カラー口絵 8 頁＋本文 720 頁
ISBN 978-4-585-31008-2 C3014
2022 年 3 月刊行

☞…詳細目次は裏面をご覧ください。

書 名	部 数
宗教遺産テキスト学の創成 木俣元一／近本謙介 [編]	定価 16,500 円・(本体価格15,000円) B5 判上製・カラー口絵 8 頁＋本文 720 頁 ISBN 978-4-585-31008-2 C3014 2022 年 3 月刊行
ご送付先ご住所・氏名 (通信欄)	

宗教遺産テキスト学の創成

木俣元一／近本謙介〔編〕

定価 一六、五〇〇円・本体 一五、〇〇〇円
B5判上製カバー装・カラー口絵八頁＋本文七二〇頁
二〇二二年三月刊行・ISBN978-4-585-31008-2 C3014

〈詳細目次〉

カラー口絵

宗教遺産テキスト学序説…………… 近本謙介

第一篇 生成・動態の解明
第一部 源流と伝播のメカニズム

——仏教文獻・図像の源流および諸地域への伝播の解明
生き続けるバーミヤン

——大仏破壊の前とその後、現在・未来へ…………… 宮治 昭
帝釈天と梵天が付き従う釈迦の誕生

——ガンダーラの浮彫に表された「灌漑」と文獻伝承との関係…………… 上枝いつみ
ウスベキスタン南部フアズテバ遺跡出土初期仏教壁画について…………… 影山悦子

西魏時代の敦煌莫高窟に見られる習合的図像表現について…………… 杉山智美
——第二四九二・八五窟の壁画に見られる「ハイブリッド・イメージ」を中心に…………… 濱田瑞美

唐五代敦煌莫高窟の窟本尊と龕内壁画について…………… 森 雅秀
曼荼羅の分類を問直す…………… 森 雅秀

第二部 交流と集積の実態解明——東アジアにおける祈りの記録と記憶
東アジア仏教における二百五十戒の実践

——新出資料と元照撰『撰戒種類図』を通じて…………… 大谷由香
寛蒙羽衣雑感…………… 荒見泰史

朝鮮から明・清へ報告された柳川一件とその影響…………… 程 永超
コラム：經典目錄からみる中世仏教形成史研究の可能性

——その考察に当たつてのメモ…………… 横内裕人
中世寺院の蔵書における歴史書の位相

——大須文庫を例として…………… 三好俊徳
阿弥陀堂を宗教遺産として読む

——無量寿院・鳳凰堂と「観無量寿経」…………… 富島義幸
夢と託宣の体現する境界性のコスモロジー…………… 近本謙介

——神仏と人の身体論…………… 近本謙介
コラム：佐羅陀山の地蔵…………… 本井牧子

第三部 日本における宗教美術の形成・伝来・復元
仏教美術史から宗教遺産学へ

——研究史から見た課題と展望…………… 児島大輔
八条院の一筆大般若経…………… 猪瀬千尋

——魔との対峙…………… 猪瀬千尋
宗教遺産としての仏教説話画

——聖衆来迎寺蔵「六道絵」阿修羅道幅をめぐるイメージとテキスト…………… 山本聡美
宗教絵画の光学的調査について…………… 鷹野佳世子

〈編者紹介〉

木俣元一（きまた・もとかず）

名古屋大学文学研究科教授。専門は西洋中世美術史。
著書に『シャルトル大聖堂のステンドグラス』（中央公論美術出版、二〇〇三年）、『ゴシックの視覚宇宙』（名古屋大学出版会、二〇一三年）、『ゴシック新論 排除されたものの考古学』（名古屋大学出版会、二〇二〇年）などがある。

近本謙介（ちかもと・けんすけ）

名古屋大学文学研究科教授。専門は中世宗教文芸。
著書に『春日権現験記絵注解』（神戸説話研究会編、和泉書院、二〇〇五年・二〇一四年改訂重版）、『天野山金剛寺善本叢刊』第一期・第二卷「因縁・教化」（共編著、勉誠出版、二〇一七年）、『玄奘三蔵——新たな玄奘像をもとめて』（共編著、勉誠出版、二〇二二年）、『ことば・はとけ・図像の交響——法会・儀礼とアーカイヴ』（編著、勉誠出版、二〇二二年）などがある。

第二篇 多様性・多声性の解明
第四部 「文化遺産」と「宗教」の歴史と理論——「宗教遺産テキスト学」の基盤構築に向けて

聖なるものと遺産に関する覚書…………… 木俣元一
——研究への助走として…………… 木俣元一

聖なるモノの来し方、行く末…………… 秋山 聡
——教会宝物をめぐる…………… 秋山 聡

過去でも、記憶でもなく…………… 松田 陽
コラム：文化遺産研究からみた宗教遺産学…………… 高橋沙奈美

コラム：西洋近世美術における礼拝価値と博物館…………… 栗田秀法
近代ギリシアと古代の宗教文化遺産…………… 周藤芳幸

——サモスのヘライオンをめぐる…………… 周藤芳幸
天の原型を計測する…………… 周藤芳幸

——有形・無形宗教遺産としての聖地エルサレムとその複製…………… 水野千依
キュビズムと聖性…………… 松井裕美

——アルペール・グレースのキリスト教信仰と失われた宗教壁画…………… 松井裕美

第五部 宗教実践の多様性と遺産化をめぐる諸問題
聖性の遺産化をめぐる政治力学の理解に向けて

——エチオピアのイスラーム聖者崇敬複合の事例…………… 石原美奈子
コラム二「なぜそこまでして文化財を守るのですか」…………… 石原美奈子

——トンブクトゥ写本の救出活動の事例から…………… 伊東未来
ライオン人間、象に変身できた男…………… 伊東未来

——「神秘的融即」のその後…………… 出口 顕
コラム：宗教遺産としての共飲共食…………… 佐々木重洋

第三篇 文理融合による新展開と未来への発信

第六部 文理融合型研究の新展開構築
科学技術と人文科学…………… 梶原義実

加速器質量分析による和紙資料の14C年代測定法…………… 梶原義実
測定法の原理と古文書・古筆切への適用…………… 小田寛貴

コラム：エジプトのピラミッド研究における三次元計測…………… 河江肖剰
情報学に基づく社会発信研究…………… 河江肖剰

考古資料3Dデータの図化システムについて…………… 井上圭多・野原裕太
——行政オープンデータ推進と考古資料デジタル化の地域展開…………… 遠藤 守

第七部 宗教遺産先端アーカイヴ構築と発信
宗教遺産学の実践としての宗教文化遺産アーカイヴ構築

——龍谷大学による「宗教テキスト文化遺産アーカイヴ」研究基盤「創設のために」…………… 阿部泰郎
コラム：仏教写本研究とデジタルアーカイブの展望…………… 三谷真澄

コラム：宗教テキストを体験する…………… 三谷真澄
——明恵上人紀州八所遺跡」と明恵の夢に注目して…………… 野呂 靖

コラム：歴注の伝承と民俗…………… 小池淳一
宗教遺産としての法相論義文獻…………… 楠 淳澄

まとめと展望…………… 木俣元一

あとがき…………… 木俣元一・近本謙介
執筆者一覧…………… 木俣元一・近本謙介

玄奘三蔵



新たな玄奘像をもとめて

佐久間秀範・近本謙介・本井牧子【編】

七世紀、遠くインドへ旅に赴き、多数の仏典・仏像を将来、
仏典の漢訳により東アジアにおける仏教の基盤を作り上げた仏者、
玄奘三蔵。

その求法の道行はいかなるものであったのか。

そして、その思想はどのように形成され、伝えられていったのか。

言説・絵画作品などで玄奘はどのように語られ、描かれているのか。

実像と伝承上の姿を対照することで浮かび上がる、

新たな玄奘像とはどのようなものなのか。

仏教学・文学・美術など多角的な視点から玄奘の、

そして、玄奘にまつわる思想・言説・図像を読み解く画期的論集。

【編者紹介】

佐久間 秀範(さくま・ひでなり)

筑波大学名誉教授。専門はインド瑜伽行唯識思想。著書『Die Āśayapariyāya-Theorie in der Yogācārahūti, Teil I, II, Alt- und Neu-Indische Studien, Bd. 40, herausgegeben vom Institut für Kultur und Geschichte Indiens und Tibets an der Universität Hamburg, Stuttgart: Franz Steiner Verlag, 1990, 10, Teil I: 178 Seiten, Teil II: 243 Seitenなどがある。』

近本 謙介(ちかもと・けんすけ)

名古屋大学文学部研究科教授。専門は中世宗教文芸。主な編著書に『天野山金剛寺善本叢刊』第一期・第二巻『因縁・教化』(共編著、勉誠出版、二〇一七年)、『春日権現験記絵注』(神戸説話研究会編、和泉書院、二〇〇五年・二〇一四年改訂重版)などがある。

本井 牧子(もとゐ・まきこ)

京都府立大学文学部教授。専門は日本文学(宗教文芸)。著書に『金蔵論本文と研究』(宮井里佳共編著、臨川書店、二〇一一年)、論文に『釈迦堂縁起』とその結構』(『國語國文』86-5, 二〇一七年五月)などがある。

【目次】

序言 ● 佐久間秀範・近本謙介

第一部 玄奘の足跡と思想

- 第一章 『西域記』慈恩伝読後 ● 桑山正進
第二章 旅する玄奘の思想的変遷 ● 佐久間秀範
第三章 玄奘の求法と伝法 ― 唯識思想を中心に ● 吉村誠
第四章 玄奘系唯識宗の異派 ― 円測思想考 ● 橘川智昭
第五章 玄奘が学んだ仏教知識論(因明) ● 師茂樹
第六章 玄奘門弟道昭和尚に関する
文献上の一考察 ● ステフェン・デル
第七章 日本における玄奘の門下生に見る修行道
― 道昭と行基 ● 養輪顕量

第二部 玄奘をめぐる言説・図像

- 第一章 玄奘訳『般若心経』の特徴
― 中世の神祇信仰を糸口として ● 阿部龍一
第二章 玄奘の仏像請来の事績二件 ● 肥田路美
第三章 敦煌文献から見た玄奘三蔵 ● 荒見泰史
第四章 日本密教文献にみる『深沙神王記』論考 ● 李銘敬
第五章 慈恩大師基をめぐる唱導
― 東大寺図書館蔵『如意鈔』を中心に ● 本井牧子
第六章 『玄奘三蔵絵』と中世南都の仏教世界観 ● 谷口耕生
第七章 『玄奘三蔵絵』の成立
― 詞書筆者資料を基点として ● 落合博志
第八章 聖なる絵巻をつくる
― 『玄奘三蔵絵』における絵と詞
● レイチェル・サンダーズ
第一章 『玄奘三蔵絵』の構造と構想
― 興福寺における宗の論理と
『春日権現験記絵』との相関 ● 近本謙介

編集後記 ● 本井牧子

定価 二二,二〇〇円(税込)

(本体二二,〇〇〇円)

A5判上製カバー装・五二頁
二〇二二年十二月刊行
ISBN978-4-585-31005-1 C3015

書 名		部 数
玄奘三蔵 新たな玄奘像をもとめて		
佐久間秀範・近本謙介・本井牧子【編】		
ご送付先ご住所(通信欄)		

定価 13,200円(税込)・本体12,000円

A5判・上製カバー装・512頁

2021年12月刊行

ISBN978-4-585-31005-1 C3015

部

勉誠出版

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
千代田区神田三崎町2-18-4 TEL.03-5215-9021 WEBSITE.http://bensei.jp/

FAX ● 03-5215-9025

杜甫研究年報

とほけんきゅうねんぱう

日本杜甫学会「編」

「詩聖」杜甫。

その詩は、それ以前の詩の総括であるとともに、
以後の中国詩の出発点でもある。

日本においては、五山の僧の崇敬、芭蕉の傾倒があり、
明治以後も、中江兆民・島崎藤村・正岡子規を始め、

知識人・国民の間で、その親愛の念は一貫して揺るがないものだった。
漢文教育においても、杜甫の詩は教材の中で重要な位置を占めてきた。

世界における杜甫への関心を見つめつつ、変転する時の中で
無窮の未来に向かって杜甫研究を発展させ続ける一冊。

【最新号】

第五号

目次

論文●「帯」の用法から見た杜甫の詩◎後藤秋正

論文●杜甫の閨情詩◎下定雅弘

論文●杜甫の二人称代名詞に関する覚え書き

——「汝曹」を中心に◎大橋賢一

論文●「杜甫韻字ユニット」モデルを用いてのそこにおける継承とその影響◎水谷誠

論文●杜甫「鵬賦」(鵬の賦) 訳注(一)◎谷口眞由実

論文●海寧に周春ゆかりの安瀾書院を尋ねる

——杜詩双声疊韻研究を終えて◎丸井憲

「研究概況及び文献収録」

日本における杜甫研究集録(二〇二〇)◎大橋賢一・加藤聰・紺野達也

日本杜甫学会会則・彙報・編集後記

定価 二、二〇〇円(税込)

[本体二、〇〇〇円]

A5判並製・九六頁

二〇二二年四月刊行

ISBN978-4-585-39445-7 C3098

注文書

書名

杜甫研究年報 第五号

日本杜甫学会「編」

部数

定価 2,200円(税込)/本体2,000円

A5判並製・196頁/2022年4月刊行
ISBN978-4-585-39445-7 C3098

部

第四号

A5判並製・104頁/2021年4月刊行
ISBN978-4-585-29444-0 C3098

部

第二号

A5判並製・88頁/2019年5月刊行
ISBN978-4-585-29442-9 C3098

部

第三号

A5判並製・112頁/2020年5月刊行
ISBN978-4-585-29443-6 C3098

部

創刊号

A5判並製・116頁/2018年4月刊行
ISBN978-4-585-29441-2 C3098

部

シリーズ

杜甫研究年報 〈定期購読〉

日本杜甫学会「編」

毎号・定価 2,200円(税込)/本体2,000円

A5判並製・約100頁

2018年以降～毎年春頃、年1回刊行

部

ご送付先住所

【関連書】

白居易研究年報 全20巻セット

白居易研究会「編」

揃定価 107,030円(税込)/本体97,300円

各巻A5判並製

部

勉誠出版

※万一のご返本の際は、青木了解で受付いたします。

千代田区神田三崎町2-18-4 TEL.03-5215-9021

WEBSITE.http://bensei.jp/

FAX●03-5215-9025

ほんちょうもんずいしょう 本朝文粹抄 七

後藤昭雄 [著]

日本漢文の粹を集め、

平安期の時代思潮や美意識を知る上でも貴重な文献「本朝文粹」。

その漢文の世界の深遠へと誘う格好の入門書。

第七巻では、慶滋保胤、紀長谷雄による公的な文章、大江匡衡・藤原行成による書状の応酬、そして、源順による書序、大江朝綱の詩序など、全十一作品を収載、さらに作者略伝を付した。

【目次】

- 第一章 封事を上らしむる詔(慶滋保胤)——臣下の意見上奏を促す
第二章 第三皇子の元服を加ふる祝文(紀長谷雄)——親王の元服祝賀文
第三章 宇多法皇の封戸を停めんと請ふ書(紀長谷雄)——上皇から天皇への書状
第四章 貞観政要を返納する書状(大江匡衡)——文は人なり
第五章 大江匡衡書状への返書(藤原行成)
第六章 沙門敬公集の序(源順)——橘在列の詩文集の序
第七章 円城寺に遊ぶ詩の序(源英明)——道真の余薫
第八章 上州大王邸に「香乱れて花識り難し」を賦す詩の序(大江朝綱)——親王時代の村上天皇
第九章 菅丞相の廟に「籬菊残花有り」を賦す詩の序(源相規)——大宰府での詩宴
第十章 「紅葉は高窓の雨」を賦す詩の序(橘正通)——説話集へ
第十一章 民部大輔を申す奏状(橘直幹)——説話集から絵巻へ

作者略伝／本朝文粹作品表／あとがき／索引

後藤昭雄(こうとう・あきお)

大阪大学名誉教授。主要著書に、『平安朝漢文学論考』(校楓社、一九八一年。補訂版、勉誠出版、二〇〇五年)、『本朝文粹』共校注、新日本古典文学大系、岩波書店、一九九二年)、『平安朝漢文学文献の研究』(吉川弘文館、一九九三年)、『日本古代漢文学与中国文学』(日本中国学文庫、中華書局、二〇〇六年)、『大江匡衡』(人物叢書、吉川弘文館、二〇〇六年)、『平安朝漢文学史論考』(勉誠出版、二〇一二年)、『本朝漢詩文資料論』(勉誠出版、二〇一二年)、『平安朝漢詩文の文体と語彙』(勉誠出版、二〇一七年)などがある。

定価 三、五二〇円・本体三、〇〇円

四六判並製カバー装・二一六頁
二〇二二年二月刊行

ISBN978-4-585-39511-9 C0095

第一期・全五巻好評発売中！

第一巻…978-4-585-05367-5 C0095 | 2006年12月刊行
第二巻…978-4-585-05407-8 C0095 | 2009年2月刊行
第三巻…978-4-585-29221-0 C0095 | 2014年7月刊行
第四巻…978-4-585-29222-7 C0095 | 2015年10月刊行
第五巻…978-4-585-29223-4 C0095 | 2018年8月刊行

定価 各巻 3,080円(税込)・本体2,800円

第六巻…978-4-585-29224-1 C0095 | 2018年8月刊行

第二期・既刊

定価 3,520円(税込)・本体3,200円

書名	部数	部数
本朝文粹抄 七 定価 3,520円(税込)・本体3,200円 四六判並製カバー装・216頁／2022年2月刊行 後藤昭雄 [著] ISBN978-4-585-39511-9 C0095		第六巻… 本朝文粹抄 六 定価 3,520円(税込)・本体3,200円 四六判上製カバー装・216頁 2020年2月刊行 ISBN978-4-585-29224-1 C0095
本朝文粹抄 第一期 (一～五巻) セット本体 14,000円	セット	第二巻… 本朝文粹抄 二 978-4-585-05407-8 C0095 2009年2月 本体 2,800円
第三巻… 本朝文粹抄 三 978-4-585-29221-0 C0095 2014年7月 本体 2,800円	部	第五巻… 本朝文粹抄 五 978-4-585-29223-4 C0095 2018年8月 本体 2,800円
	部	部
	部	部

通信欄

勉誠出版

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
千代田区神田神保町3-10-2 TEL.03-5215-9021 WEBSITE.http://bensei.jp/

FAX●03-5215-9025

中世の 博多とアジア

伊藤幸司〔著〕

中世日本における 国際交流の最前線

中世日本においてアジアへの窓口であり、アジアにおける日本への窓口でもあった博多。アジアの海商が来航する博多での貿易活動は、民間取引や国家外交など、多様で広範な国際交流のなかで展開されていた。また、博多で展開する宗教勢力は、こうした国際交流と密接不可分の状況で展開し、その影響はネットワークを通じて広く列島の各所にも及んでいた。中世の博多をもつとも特徴付ける要素である「貿易」と「宗教」という視角から俯瞰的に考察し、中世日本最大の国際貿易港であり、東アジア海域有数の港湾都市であった博多の実像に迫る。国際交流史、都市史、流通史、宗教史を架橋する新知見を提示する画期的な一書。

【著者紹介】

伊藤幸司（いとう・こうじ）

九州大学大学院比較社会文化研究院教授。
専門は日本中世史・東アジア交流史。

著書に『中世日本の外交と禅宗』（吉川弘文館、二〇〇二年）、『日明関係史研究入門』（共編著、勉誠出版、二〇一五年）、『室町戦国日本の覇者大内氏の世界をさぐる』（責任編集、大内氏歴史文化研究会編、勉誠出版、二〇一九年）などがある。

【目次】

カラー口絵

凡例

序章 中世博多研究の潮流

第一部◎貿易都市博多

第一章 港町複合体としての中世博多湾

第二章 中世博多の海商と海の道——南島路をめぐる

第三章 日朝関係における偽使の時代——博多商人の視点から

第四章 中世後期の博多とアジア

第二部◎宗教都市博多

第五章 宗教都市博多の中世——寺社を中心として

第六章 博多と鎌倉——鎌倉時代の日本禅宗界

第七章 首羅山・油山と東アジア

第八章 中世の崇福寺をめぐる

第九章 博多聖福寺と臨済宗幻住派

第三部◎博多の史料研究

第一〇章 聖福寺古図と承天寺古図——描かれた戦国時代の博多

第十一章 湖心碩鼎『願賢録』について

終章 アジアのなかの港市博多

史料編◎湖心碩鼎『願賢録』

凡例

『願賢録』乾

『願賢録』坤

初出一覧

研究費使用一覧

あとがき

掲載図表一覧

参考文献一覧

索引



本体九、五〇〇円（＋税）
A5判・上製カバー装
口絵四頁＋本文五六〇頁
二〇二一年二月刊行
ISBN978-4-585-22300-9 C3020

書名	部数
中世の博多とアジア 伊藤幸司〔著〕 本体9,500円（＋税） A5判・上製カバー装 カラー口絵4頁＋本文560頁 2021年2月刊行 ISBN978-4-585-22300-9 C3020	部
ご送付先ご住所（通信欄）	

首里城を解く

高良倉吉 [監修]
島村幸一 [編]

文化財継承のための礎を築く

首里城を歴史的・文化的に
考えるために――

中国や日本、東南アジアなどとの海を越えた交流により独自の文化を築いた琉球王国。首里城は、その政治・外交の中心を担い、琉球王国の文化の豊穡さを体現する一大建造物である。数度の火災、琉球処分や沖縄戦等、歴史の荒波のなかでその大部分を損壊することとなったが、数多の人びとの尽力により、首里城復元事業が推進され、二〇〇〇年には世界遺産として登録されることとなった。

しかし、二〇一九年(令和元年)十月三十一日未明、首里城を火災がおそい、正殿と北殿、南殿が全焼し、その再建・復元は喫緊の課題として、現在検討が進められている。

失われた首里城を取り戻すために、いま、必要な知識は何か。

考古学・歴史学・建築学・文学等、諸分野の第一人者を集結、首里城の歴史と文化を解き明かし、再建に向けた礎を提示する画期的な書。

【監修者・編者紹介】

高良倉吉 (たからくらよし)

琉球大学名誉教授・元沖縄県副知事。専門は琉球王国史。首里城復元の委員。著書に『琉球王国史の探求』(榕樹書林、二〇一一年)など。

島村幸一 (しまむらこういち)

立正大学文学部教授。専門は琉球文学・琉球文化史。著書に『琉球文学の歴史叙述』(勉誠出版、二〇一五年)、『琉球船漂着者の「聞書」世界――「大島筆記」翻刻と研究』(編著、勉誠出版、二〇二〇年)など。

【目次】

序文…島村幸一

首里城を創る――正殿を中心に…高良倉吉

●考古学から

首里城の原点についての一考察

――グスク時代の遺跡で見られる隔離空間を再考する…山本正昭

出土陶磁器から見た首里グスク…瀬戸哲也

「コラム」トカラ、三島の城郭遺跡…伊藤慎二

「コラム」宮古・八重山諸島のグスク時代石積遺構について

…久貝弥嗣

●歴史学から

古琉球期における首里城の様相と変遷…上里隆史

「コラム」絵図から見た首里城…外間政明

近世琉球期の首里城――儀礼空間としての首里城…麻生伸一

「コラム」首里城で働く人々

――庖丁人と琉球の料理について…山田浩世

近代の首里城――県民に開かれた御城…喜納大作

●文学・芸能から

祭場としての首里グスク…島村幸一

芸能の舞台としての首里城…茂木仁史

漢詩に詠まれた首里城…高津孝

「コラム」首里グスクの御内原…島村幸一

散文に描かれた首里グスク…仲程昌徳

短歌のなかの首里城…屋良健一郎

●建築学・工芸から

中華礼制蕃国礼執行装置としての首里城…伊從勉

首里グスクの「異産至宝」…上江洲安亨

首里グスクを中心とした衣文化

――三山時代から近世琉球国後期頃まで…久貝典子

首里城を知るための〈入門〉十冊…輝広志

あとがき…島村幸一

定価4,180円(税込)
[本体3,800円]A5判・並製カバー装・336頁
ISBN978-4-585-32001-2 C1020
2021年9月刊行

書名	部数
首里城を解く 文化財継承のための礎を築く 高良倉吉 [監修] / 島村幸一 [編]	部
ご送付先ご住所 (通信欄)	

島村幸一・小此木敏明・屋良健一郎

著

訳注 琉球文学

『佐銘川大ぬし由来記』

『周蘭両姓記事』『思出草』

『浮縄雅文集』『雨夜物語』

『永峰和文』

さながわおおぬしゆらいき
しゅうりんりょうせいいき おもいでくさ
うきなわがぶんしゅう あまよものがたり
ながみねわぶん

文化の結節点たる琉球においては、琉球語のみならず漢語・和語による諸種の文学作品が華ひらいた。それらは、琉球という場のもつ広がりを示す貴重な歴史資料でもある。

十八世紀前半期は、琉球王府による歴史資料の編纂事業が集中し、文芸が盛んな時代であった。氏族の歴史叙述が本格的に始まり、正史や地誌の編纂も行われた。

家譜と正史、地誌の叙述により、物語としての歴史が作られていく。

また、それと並行して、御取合(交際・交流)の文学としての和文学も展開した。

本書では、そのような時代に成立した6編の作品を取り上げ、

校訂本文に注釈・現代語訳を付し、解説を加える。

琉球をどのように叙述し、どう認識させようとしているのか。

琉球の歴史や地誌をどのような枠組みで描こうとしているのか。

琉球の歴史伝承叙述の意味づけを考える上で重要な作品を読み解く。

【著者プロフィール】

島村幸一(しまむら・こういち)

立正大学文学部教授。専門は琉球文学・琉球文化史。

著書に『おもろさうし』と琉球文学(笠間書院、二〇一〇年)、『琉球文学の歴史叙述』(勉誠出版、二〇一五年)、『おもろさうし研究』(角川文化振興財団、二〇一七年)、『琉球船漂着者の「開書世界」』(大島筆記・翻刻と研究) (勉誠出版、二〇二〇年)、『首里城を解く』(文化財継承のための礎を築く) (編著、勉誠出版、二〇二二年)などがある。

小此木敏明(おこのぎ・としあき)

立正大学古書資料館専門員・立正大学非常勤講師。専門は中世・近世文学。

著書に『立正大学蔵書の歴史 寄贈本のルーツをたどる』(近世駿河から図書館へ増補改訂版) (立正大学出版部、二〇一九年)、『論文に「中山世鑑」における依拠資料』(『四書大全』・『綱鑑』・『太平記』について) (『説話文学研究』47、二〇二二年)、『中山世鑑』の伝本について(内閣文庫を中心に) (小峯和明監修・目黒将史編『資料学の現在(シリーズ 日本文学の展望を拓く5)』(笠間書院、二〇一七年)などがある。

屋良健一郎(やら・けんいちろう)

名桜大学国際学群上級准教授。専門は琉球史。

著書に『琉球史料の船出』(共編、勉誠出版、二〇一七年)、『論文に「近世琉球の日本文化受容」』(清水光明編『近世化論と日本「アジア」遊学185』(勉誠出版、二〇一五年)、『近世における琉球人の日本漂着』(島村幸一編『琉球船漂着者の「開書世界」』(大島筆記・翻刻と研究) (勉誠出版、二〇二〇年)などがある。

6作品全点
初の訳注

定価 12,100円・(本体価格11,000円)

A5判上製・496頁
ISBN 978-4-585-39009-1 C3095
2022年3月刊行

【目次】

序文
凡例

佐銘川大ぬし由来記

解説／本文／現代語訳／注釈

周蘭両姓記事

解説／本文／現代語訳／注釈

思出草

解説／本文／現代語訳／注釈

浮縄雅文集

解説／本文／現代語訳／注釈

雨夜物語／永峰和文

解説／本文／現代語訳／注釈

参考地図

参考文献一覧

あとがき

和歌初句索引

書名	部数
訳注 琉球文学 『佐銘川大ぬし由来記』『周蘭両姓記事』『思出草』 『浮縄雅文集』『雨夜物語』『永峰和文』 島村幸一〔編〕	部
ご注文先住所・氏名 (通信欄)	

勉誠出版

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
千代田区神田神保町3-10-2 TEL.03-5215-9021 WEBSITE.http://bensei.jp/

FAX●03-5215-9025

中国史書入門 現代語訳 北齊書

〔監修〕 氣賀澤保規…明治大学東アジア石刻文物研究所所長

池田恭哉…京都大学文学研究科准教授

岡部毅史…大阪市立大学学術情報課職員

〔訳者〕 梶山智史…明治大学・専修大学兼任講師

倉本尚徳…京都大学人文科学研究所准教授

田熊敬之…東京大学大学院人文社会科学系研究科博士課程

二十四史と呼ばれる中国歴代王朝史（正史）を、
現代語訳で読む「中国史書入門」シリーズ。

異民族が中原に進出し、

群雄割拠した魏晋南北朝時代。

有名な蘭陵王・高長恭が活躍した

北齊の正史『北齊書』を現代語で読む。

本書の特色

◆原文と現代語訳が対照できる。

◆皇帝の本紀を全篇訳出。各列伝の抄訳。

◆『北齊書』や「東魏・北齊」を理解する

コラム、地図や事表、系図などの資料

を収録。

目次

はじめに

第一部 帝室の軌跡

第一章 帝紀

神武帝（上）、文襄帝、文宣帝、廢帝、孝昭帝、武成帝、後主、幼主

第二章 後宮伝

神武皇后、文襄元后、文宣李后、孝昭元后、武成胡后、後主斛律后、胡后、穆后

第三章 諸王侯伝

高祖十一王、文襄六王

第二部 人臣の列伝

第四章 群臣伝——東魏・北齊の勲貴たち

寶泰、尉景、婁昭（兄子・婁叡）、庫狄干（子・庫狄士文、韓軌、潘樂、段榮（子・段韶、段孝言）、斛律金（子・斛律光、斛律羨）、孫騰、高隆之、司馬子如、賀拔允、蔡儁、韓賢、尉長命、王懷、劉貴、任延敬、莫多婁賁文、高市貴、薛孤延、張瓊（子・張忻、張遵業、斛律光舉（子・斛律孝卿、代人・劉世清）、堯雄（弟・堯貴、從父兄・堯傑）、慕容紹宗、慕容儼

第五章 群臣伝——神武帝・文襄帝・文宣帝の謀臣・武將たち

高乾（弟・高慎、高昂、高季武）、封隆之（子・封子繪、從子・封孝琬、封孝琰）、李元忠（子・李孫、族弟・李密、宗人・李暉、族叔・李景遷、盧文偉（子・盧恭道、孫・盧詢祖、族人・盧勇）、李義深（子・李襲、族弟・李正遷）、魏蘭根、崔俊（子・崔瞻、族叔・崔景鳳、族人・崔肇、孫・孫纂、陳元康（子・陳善藏、弟・陳慤）、杜弼

第六章 群臣伝——東魏・北齊の文武百官たち

敬顯儁、破六韓常、元孝友、李渾（子・李湛、弟・李肅、族人・李公緒）、崔暹、高德政、崔昂、王昕（弟・王暉）、陸法和、王琳、徐之才（子・徐林、徐同卿、徐之範）、楊愔（子・楊肅、宋欽道、鄭頤）、裴讓之（弟・裴讓之、裴讓之、邢邵、魏收、辛術、元文遙、趙彥深、崔季舒、祖珽、尉瑾、唐邕、白建、暴顯、皮景和、暴連猛、元景安、獨孤永業、陽斐、盧潜、崔劼、盧叔武、陽休之、袁聿修、李稚廉、封述、源彪

第七章 學術伝

儒林伝序、顔之推

第八章 外戚伝・方伎伝・恩倖伝

外戚序、婁叡、胡長仁（從祖兄・胡長樂）、方伎序、由吾道榮、信都芳、宋景業、許遵、吳遵世、趙輔和、皇甫玉、解法選、魏寧、秦母懷文、張子信、馬嗣明、恩倖序、郭秀、和士開、穆提婆、高阿那肱、韓鳳、韓寶業、盧勒又、齊紹

コラム

『北齊書』編纂 ●「鄴城・晋陽」兩都制 ●北齊蘭陵王 ●文林館・『修文殿御覽』

侯景の乱 ●北齊仏教 ●西域胡人 ●北齊・北周の關係

資料編（北齊版図、事表、系図ほか）

おわりに

本体 六、〇〇〇円（＋税）

A5判並製カバー装・約六五〇頁

二〇二一年夏刊行

ISBN978-4-585-29612-6 C0398

書名	部数
中国史書入門 現代語訳 北齊書	本体6,000円(+税)
氣賀澤保規〔監修〕 池田恭哉・岡部毅史・梶山智史・倉本尚徳・田熊敬之〔訳〕	A5判並製カバー装・約650頁 2021年夏刊行 ISBN978-4-585-29612-6 C0398
ご送付先ご住所（通信欄）	部

書物學

DBLJOLGY

古今東西の知の宝庫に分け入り、
読書の楽しさを満喫する！

定価 一、九八〇円(税込)
定価 一、八〇〇円(+税)
B5判並製・一二八頁(フルカラー)
二〇二二年二月刊行
ISBN978-4-585-30719-8 C1000

◎特集

紙のレンズから見た古典籍

古典籍や古文書に使用されている紙は、
いったいどのような製法により作られたものなのか。
先人たちは紙にどのような加工や工夫を凝らしてきたのか――。

旧来の書誌学・書物学的検討に加え、
高精細デジタルマイクロスコープや機械学習など、
最先端の技術を組み合わせて、
古典籍の世界を「紙」というレンズから探る！

◎特集もくじ

- ◎穀物澱粉添加による紙の改質…江南和幸
- ◎和紙のモルフオロジー解析…澤山茂
- ◎家の学問と写本にみる打紙加工…赤尾栄慶
- ◎源氏物語写本の打紙は何を語るか…横井孝
- ◎明融本源氏物語と打紙…上野英子
- ◎『修紫田舎源氏』の絶板と用紙…佐藤悟
- ◎『大清聖祖仁皇帝實録』の紙質…徐小潔
- ◎打紙再現試料から繊維の形状と表面の粗さを見る…大和あすか・鈴木七美
- ◎紙質観察画像のデータベース構築と自動分類に関する試み…中村覚
- ◎データ駆動型研究とマテリアル分析…山本和明

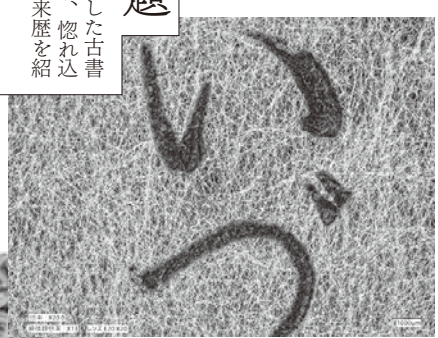
◎特別寄稿

御膳本草の周辺――それぞれの写本…横山學
熱帯季題と風土――台湾の俳句と郷土の創成…井田太郎
西洋古典建築書にみられる東向き図書館…吉川也志保

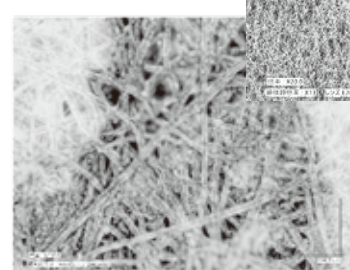
◎新連載

松朋堂 新収古書解題

二〇二〇年、あらたに開業した古書店「松朋堂」。店主が出会い、惚れ込んだ様々な古典籍の書誌・来歴を紹介する瞳目の新連載！



古典籍に
用いられた紙の
拡大画像



◎連載

〈新連載〉松朋堂新収古書解題…佐藤道生
書物の声を聞く―書誌学入門…佐々木孝浩
書籍はどのように動いたのか―近代書籍流通史料の世界…磯部敦
西洋古書の遠近法…雪嶋宏一

書名	部数
〈書物学 19〉 紙のレンズから見た古典籍 編集部 [編]	部
ご送付先ご住所 (通信欄)	

勉誠出版

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
東京都千代田区神田三崎町2-18-4 TEL.03-5215-9021 WEBSITE.http://bensei.jp/

FAX◎03-5215-9025

【オンデマンド版】

近代日本語教科書 語彙索引

伊藤孝行〔編〕

弊社刊行オンデマンド版は、
▶返品原則不可
▶納期は概ね10営業日後
何卒ご了承くださいませ。

定価8,800円／本体価格8,000円

A5判並製・376頁

2022年6月刊行

ISBN978-4-585-88002-8 C3081

近代日本語教科書には どのようなことが取り上げられていたのか

明治期から戦中期にかけて日本国内外で刊行された日本語教科書は、刊行当時のことが記録された「日本語史資料」として、また使用者のニーズを考慮しながら一定の規範となる日本語を映した「日本語教育史資料」として、日本語の歴史や教育の歴史を詳らかにする上で、看過することのできない重要な資料である。本書は、近代日本語教科書 10 種 15 冊の本文全文をテキスト化し、索引の見出し語として約 25,000 語を採用。

日本語史・日本語教育史をはじめとする諸分野研究に資する、
近代語資料の隙間を埋める一冊。

【本書の特色】

- ▶明治期から戦中期までに刊行された日本語教科書10種15冊の本文全文をテキスト化し、それぞれの出現位置情報を明示。
- ◎収録資料
金井保三(1904)『日語指南 壹』中国語母語話者向け
金井保三(1905)『日語指南 貳』中国語母語話者向け
宏文学院(1906)『日本語教科書 第一巻』中国語母語話者向け
宏文学院(1906)『日本語教科書 第二巻』中国語母語話者向け
宏文学院(1906)『日本語教科書 第三巻』中国語母語話者向け
大宮貫三(1907)『日語活法』中国語母語話者向け
M. D. Berlitz(1919)『日本語教科書』英語母語話者向け
東亜高等予備学校(1932)『日本語のはじめ一』中国語母語話者向け
東亜高等予備学校(1932)『日本語のはじめ二』中国語母語話者向け
東亜高等予備学校(1933)『日本語のはじめ三』中国語母語話者向け
泉虎一(1938)『日暹会話便覧』タイ語母語話者向け
三木栄(1940)『日泰会話』タイ語母語話者向け
モンコール・オンシクル(1941)『日泰会話』タイ語母語話者向け
鉄道省国際観光局(1942)『日泰会話』タイ語母語話者向け
国際文化振興会(1942)『NIPPONGO』タイ語母語話者向け
- ▶検索可能なテキストデータとしては未公開の資料群の語彙も検索可能。
- ▶複合語は後項部(後項語)からも調べることが可能。

【編者プロフィール】

伊藤孝行(いとう・たかゆき)

北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院准教授。専門は国語学、日本語教育。

國學院大學大学院文学研究科博士課程後期修了。博士(文学)。タイ国立タマサート大学外国人専任講師、財団法人交流協会(現:公益財団法人日本台湾交流協会)日本語専門家、名桜大学講師・准教授・上級准教授、北海道大学留学生センター准教授を経て現在に至る。

宏文学院(1906)『日本語教科書』
(本書には掲載しておりません)

194	ソロエ 【編】 [01-1] 82 [06] 16 ソロソロ 【徐々】 [02-2] 126 [03] 93 ソロソロト [04] 131 ソロバン 【節量】 [01-1] 145, 149 ソシ 【語】 [01-2] 81 [02-3] 136 [03] 127 [10] 177 ソシ 【村】 [05-3] 15 ソシガイ 【序外】 [02-3] 105, 126, 160 [05-3] 9 ソシケイ 【専敬】 [03] 158 [10] 185 ソシケイリスル 【尊敬】 [10] 185 ソシジ 【御存知】 [03] 51 [02-1] 93 [09] 22 ソシスル 【損】 [10] 177 ソシスル 【存】 [02-1] 105, 142 [02-2] 27, 28, 56, 74 [02-3] 3, 138 [04] 109, 110, 112, 118, 126 [05-3] 15, 31 [06] 85, 86	【た】 タ 【他】 [02-3] 11, 68, 144, 149, 156, 157 タ 【出】 [03] 53 [10] 190 タース 【単位】 [05-2] 23, 55 [06] 15, 16 ターラング 【単位】 [07] 127 タイ 【体】 [07] 106 タイ 【陳】 [07] 111 タイ 【語】 [07] 48 [09] 8, 55 タイ 【陳】 [06] 90, 92 タイ 【語】 [02-1] 20 [07] 122 タイ 【陳編】 [02-3] 27 ダイ 【代】 [06] 80, 103, 104 ダイ 【台】 [01-1] 83 [02-2] 73 [05-2] 23 [06] 48, 58, 73 [07] 107 ダイ 【大】 [01-2] 144 [02-1] 60, 62	タイク 【体育】 [02-2] 72 タイクカイ 【体育】 [02-1] 106 ダイチ 【第一】 [02-1] 119 [02-3] 57, 63 [03] 119, 155 [04] 118 [05-3] 19 [06] 47, 72 [07] 99 ダイチジ 【第一時】 [02-3] 157 ダイチジ 【第一時】 [02-3] 157 ダイチモジ 【第一】 [04] 55 ダイツセン 【第一】 [05-3] 37 ダイツセン 【第吉】 [07] 99 タインレキ 【太陰】 [06] 32 タイオンキ 【体温器】 [06] 58 タイオンケイ 【体温】 [06] 58, 61 タイカイ 【大会】 [02-3] 16, 67 [05-3] 19, 20 タイカイ 【臨時大会】 [02-3] 67 タイガイ 【大害】 [03] 97 タイガイ 【大観】 [01-2] 1, 2, 162 [02-1] 72, 130
-----	---	--	--

書 名	部 数
近代日本語教科書語彙索引【オンデマンド版】 伊藤孝行〔編〕 ご送付先ご住所（通信欄）	部

定価8,800円／本体価格8,000円

A5判並製・376頁

2022年6月刊行

ISBN978-4-585-88002-8 C3081

勉誠出版

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
千代田区神田三崎町2-18-4 TEL.03-5215-9021 WEBSITE.http://bensei.jp/

FAX●03-5215-9025

地域文化の可能性

木部暢子 [編]

定価 2,970 円／本体価格 2,700 円

A5判並製カバー装
224頁+カラー口絵16頁
ISBN978-4-585-32015-9 C1020
2022年3月刊行

地域の文化を守り、継承し、活用していくために——

現代社会はこれまでに経験したことのないさまざまな問題に直面している。

とりわけ、地域社会の変貌や大規模災害により多様性が急速に失われつつあるなか、

私たちは過去の文化の多様な姿とその蓄積から

何を導き出し、未来の地域社会をどのようなものとして構想すべきか。

身近な地域文化を対象として、そこに生み出され、受け継がれてきた知恵の数々や努力の軌跡に光を当て、

民俗学、文化人類学、言語学、保存科学、歴史学、自然環境学等の諸分野から

地域文化の再評価や復興にアプローチする。

【目次】

はじめに ■小池淳一

第1章 地域を見つめ、つなげる——地域文化資源の「発見」と「活用」 ■小池淳一

第2章 地域資料をめぐるひとびと ■丹羽謙治

第3章 奄美の文化資源 ■桑原季雄

第4章 ことばと地域文化 ■木部暢子

第5章 学生が取り組む地域歴史遺産の保全と活用 ■添田仁

第6章 自然資本を活かした地域の可能性 ■中静透

第7章 災害支援から考える地域文化と博物館 ——地域文化の「再発見」と「保存・活用」—— ■日高真吾

第8章 原子力災害被災地域における民間資料の保存と活用 ■渡辺浩一

執筆者一覧

索引



【編者プロフィール】

木部暢子 (きべのぶこ)

国立国語研究所特任教授。専門は日本語学。研究テーマは日本の方言、音韻・音声、アクセント。

著書に『日本語アクセント入門』（共著、三省堂、2012年）、『そうだったんだ日本語 ジャっで方言なおもしろか』（岩波書店、2013年）、『方言学入門』（共編著、三省堂、2013年）、論文に「消えゆく言語・方言を守るには」（『國學院雑誌』119-11、2018年）などがある。

書名	部数
地域文化の可能性	定価 2,970 円／本体価格 2,700 円 A5判・並製カバー装・224頁+カラー口絵16頁 2022年3月刊行 ISBN978-4-585-32015-9 C1020
木部暢子 [編]	部
ご送付先ご住所（通信欄）	